

令和4年度（令和3年度対象）

教育委員会の点検・評価報告書

令和4年11月

宇和島市教育委員会

I はじめに	頁
1 趣旨	1
2 点検・評価の対象	1
3 学識経験を有する者の知見の活用	2
II 教育委員会の活動状況	
1 教育委員会の構成（令和3年度在籍）	2
2 教育委員会会議の開催状況	3
3 教育委員会会議以外の活動状況	3
III 各施策の点検・評価	
1 学校教育	
(1) 生きる力をはぐくむ教育の推進	4・5
(2) 一人一人を生かす生徒指導の徹底	6・7
(3) 教職員の資質・能力と指導力の向上	8・9
(4) 創意工夫に富む学校づくりの推進	10・11
(5) 健康・安全教育の推進	12・13
(6) 人権・同和教育の推進	14・15
(7) 教育の機会の充実と整備	16～19
(8) 幼稚園教育の振興と整備充実	20・21
(9) 教育施設環境の整備充実	22・23
(10) 全国高等学校総合体育大会への取組み	24・25
2 社会教育	
(1) 豊かな心を育てる社会教育の推進	26・27
(2) 地域社会と連携した子どもの健全な育成	28～30
(3) 生涯学習の充実	31～33
(4) 人権・同和教育の推進	34・35
3 文化	
(1) 文化財の保存整備・活用	36～39
(2) 文化芸術の振興	40・41
4 人権・同和教育	
(1) 差別解消への明るい展望をもった人権・同和教育の推進	42・43
(2) 人権・同和教育推進体制の確立	44・45
(3) 人権が尊重されるまちづくりの推進	46・47
5 社会体育	
(1) スポーツ施設の整備と利用促進	48・49
(2) スポーツ団体の育成	50・51
(3) スポーツ活動をサポートする環境づくり	52・53
6 学校給食	
(1) 学校給食の充実	54・55
(2) 給食施設の整備	56・57
7 情報教育	
(1) ネットワークを活用した市民への情報提供の推進	58・59

I はじめに

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律において、『教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用して点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。』と規定されています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、法の趣旨に則り実施した、教育委員会の点検及び評価についてまとめたものです。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、本市教育の指針である「宇和島市教育基本方針」に基づき実施した「教育重点施策（24項目）」について点検・評価を行いました。

【令和3年度教育重点施策】

1 学校教育	(1) 生きる力をはぐくむ教育の推進 (2) 一人一人を生かす生徒指導の徹底 (3) 教職員の資質・能力と指導力の向上 (4) 創意工夫に富む学校づくりの推進 (5) 健康・安全教育の推進 (6) 人権・同和教育の推進 (7) 教育の機会の充実と整備 (8) 幼稚園教育の振興と整備充実 (9) 教育施設環境の整備充実 (10) 全国高等学校総合体育大会への取組み
2 社会教育	(1) 豊かな心を育てる社会教育の推進 (2) 地域社会と連携した子どもの健全な育成 (3) 生涯学習の充実 (4) 人権・同和教育の推進
3 文化	(1) 文化財の保存整備・活用 (2) 文化芸術の振興
4 人権・同和教育	(1) 差別解消への明るい展望をもった人権・同和教育の推進 (2) 人権・同和教育推進体制の確立 (3) 人権が尊重されるまちづくりの推進
5 社会体育	(1) スポーツ施設の整備と利用促進 (2) スポーツ団体の育成 (3) スポーツ活動をサポートする環境づくり
6 学校給食	(1) 学校給食の充実 (2) 給食施設の整備
7 情報教育	(1) ネットワークを活用した市民への情報提供の推進

3 学識経験を有する者の知見の活用

点検・評価の客観性の確保等の観点から、ご意見、ご助言をいただいた方は次のとおりです。

役 職 名	氏 名
元天神公民館長	西田 稔
元公立学校長	松廣 歩

(50音順・敬称略)

II 教育委員会の活動状況

1 教育委員会の構成

①令和3年4月1日～令和3年9月27日

役 職	氏 名	任 期
教 育 長	金 瀬 聡	平成30年9月28日～令和3年9月27日
教育長職務代理者	高 山 俊 治	令和2年9月28日～令和6年9月27日
委 員	木 下 充 卓	平成29年9月28日～令和3年9月27日
委 員	弓 削 由 美 子	令和元年9月28日～令和5年9月27日
委 員	浅 井 敬 司	平成30年7月1日～令和4年6月30日
委 員	田 村 裕 子	平成30年9月28日～令和4年9月27日

②令和3年9月28日～令和3年10月28日

役 職	氏 名	任 期
教 育 長	金 瀬 聡	令和3年9月28日～令和6年9月27日
教育長職務代理者	高 山 俊 治	令和2年9月28日～令和6年9月27日
委 員	木 下 充 卓	令和3年9月28日～令和7年9月27日
委 員	弓 削 由 美 子	令和元年9月28日～令和5年9月27日
委 員	浅 井 敬 司	平成30年7月1日～令和4年6月30日
委 員	田 村 裕 子	平成30年9月28日～令和4年9月27日

③令和3年10月29日～令和4年3月31日

役 職	氏 名	任 期
教 育 長	金 瀬 聡	令和3年9月28日～令和6年9月27日
教育長職務代理者	木 下 充 卓	令和3年9月28日～令和7年9月27日
委 員	高 山 俊 治	令和2年9月28日～令和6年9月27日
委 員	弓 削 由 美 子	令和元年9月28日～令和5年9月27日
委 員	浅 井 敬 司	平成30年7月1日～令和4年6月30日
委 員	田 村 裕 子	平成30年9月28日～令和4年9月27日

2 教育委員会会議の開催状況

次のとおり定例教育委員会会議及び臨時会議を開催し、議案の審議を行いました。

①令和3年度の会議開催状況 (単位：回)

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
定例会	※	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	11
臨時会												2	2
計	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	13

※愛媛県内新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い中止（令和3年4月）

②令和3年度の議案等の付議状況 (単位：件)

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
議案		1	1		1	3	2	2	1	1	2	6	20
専決		11	3	2			1	1	3			3	24
協議報告		1	7	6		6	2	1	3	3	3	1	33
請願													
計		13	11	8	1	9	5	4	7	4	5	10	77

3 教育委員会会議以外の活動状況

○教育委員会会議への出席以外の教育委員の主な活動状況は、次のとおりです。

◆令和3年度南予管内市町等教育委員会連合会総会（書面開催）

参加者 教育長 金瀬聡 委員 高山俊治

◆令和3年度愛媛県市町教育委員会連合会定期総会（書面開催）

参加者 教育長 金瀬聡 委員 高山俊治 委員 木下充卓
委員 弓削由美子 委員 浅井敬司 委員 田村裕子

◆令和3年度南予管内市町等教育委員会連合会教育委員会研修会（書面開催）

参加者 教育長 金瀬聡 委員 高山俊治 委員 木下充卓
委員 弓削由美子 委員 浅井敬司 委員 田村裕子

◆小学校・中学校・幼稚園への学校訪問

◆成人式、スポーツ大会等各種行事・大会への出席

※新型コロナウイルス感染拡大防止のやめ出席自粛(行事・大会の中止も含む)

◆各種行事・大会の後援及び共催

(実績)・後援数 36 第9回 こども年賀状コンテスト 他
・協賛数 1 第16回 宇和島市総合文化祭「俳句大会」
・共催数 77 令和3年度不法投棄・ポイ捨て防止児童ポスター
コンクール 他

III 各施策の点検・評価

令和3年度の「教育重点施策」についての点検・評価は、次のとおりです。

項目	1 学校教育			
重点施策	(1) 生きる力をはぐくむ教育の推進			
個別事業・施策名	学校自主企画事業・教育指導事業（標準学力検査委託料・UWAJIMAジョブチャレンジU-15スタートセッションバス等配車運航委託料 他）	予算 執行 状況	予算額	10,288千円
			決算額	8,882千円
事業区分	市単独事業		不用額	1,406千円
			繰越額	0千円
施策概要	<p>【学校自主企画学習事業 3,048千円】 児童生徒の学力向上に資する目的で、各学校等の創意工夫を生かした自主的な取組への支援を行います。具体的には、小中学校が企画した、児童生徒、学校及び地域の実態に即した学校自主企画学習事業を展開しています。</p> <p>【標準学力調査委託料 6,800千円】 標準学力調査を実施し、その調査結果を分析することによって得られた課題に対する具体的な取組を行うことで、基礎と応用のバランスの取れた学力の育成に努めます。</p> <p>【UWAJIMAジョブチャレンジU-15スタートセッション 440千円】 職場体験学習に参加する宇和島市の中学生が一堂に会し、事業のねらいや支援していただく人たちの願い、地域の期待などを聞くことにより、職場体験学習への参加意欲を高め、充実した取組につなげようとするものです。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭との協働による学習・生活習慣の確立 ○学校の創意工夫を生かした確かな学力の定着と向上 ○豊かな心をはぐくむ道徳教育の充実 ○社会に開かれた教育課程の実現 			
	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>【学校自主企画学習事業】 小学校28校、中学校6校における学力向上に係る自主的な企画に対して、財政的な支援を行いました。令和3年度は、読解力向上研修会、俳句教室、表現力向上プログラム、コミュニケーション能力向上講座、食育講座、プログラミング教室、SDGsに関する学習会等、各校の創意工夫により様々な取組が展開されました。</p> <p>【標準学力調査】 4月に小学校2～6年、中学校1～3年で実施しました。実施後は、Web評価支援システムにより、個に応じたきめ細かなフォローが可能となっております。また、Web上でいつでも結果資料を閲覧できるため、教員間での情報共有がスムーズに行われ、学校全体で課題解決・指導改善に生かすことができ、学力向上だけでなく、教員のサポートとしての効果も期待できます。</p> <p>【UWAJIMAジョブチャレンジU-15スタートセッション】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、スタートセッションは実施できませんでした。5日間の職場体験学習は、実施時期のコロナ感染状況により、期間を短縮したり、事業所の講話や企業訪問に変更したりしました。令和2年度よりも充実したものとなりました。</p> <p>【道徳教育の充実】 愛媛大学の協力の下、ココロまじわうトコロ・地域教材作成実行委員会によって中学校道徳地域教材「宇和海」が発行されました。4つの資料を各中学校の実態に合わせて活用し、道徳授業を行う予定です。</p>			

事業の成果	成果	<p>【学校自主企画事業】 令和3年度も、各校の実情に応じた多様な実践が行われました。市内の全小中学校が本事業を活用し、そのうち、32校が事業後のアンケート調査で、「本事業の効果を実感した」と回答しました。また、「地域との協働のために欠かせない事業である」「この事業のおかげで現地に行って生の活動を見学したり体験したりできるため、社会科の学習等で大変助かっている」との声も聞かれました。今後も積極的な活動を促していきます。</p> <p>【UWA J IMA ジョブチャレンジU-15スタートセッション】 職場体験を5日間実施した学校が1校、2日間実施した学校が2校、校内での事業所講話や企業訪問等を実施した学校が3校でした。職場体験を行った3校全ての生徒が、「働くことの大切さ、厳しさ、楽しさを感じた」の項目について肯定的回答をしております。勤労観や職業観が育まれただけでなく、将来どのように生きるかを問いかけるきっかけとなりました。</p> <p>【道徳教育の充実】 各小中学校の道徳教育推進教師を中心として、各校の道徳教育の充実を図ることができました。特に令和3年度は、中学校地域教材「宇和海」の発行により、各地域の特色を生かした道徳教育が推進されました。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>【学校自主企画事業】 多くの学校が事業の継続を希望する中、今後は、学力向上の視点から、本事業がどの程度効果を上げているのかを各校で検証していく必要があると考えております。</p> <p>【UWA J IMA ジョブチャレンジU-15スタートセッション】 コロナウイルスの影響により、スタートセッションが開催できないという状況が続いております。今後は、コロナウイルスの状況を見ながら、開催方法の変更も考えていく必要があります。</p> <p>【道徳教育の充実】 教科化に伴い、道徳の評価に対して不安を抱えている教員も見られます。今後は、特に評価について研修を進める必要があります。</p>
学識経験者意見	<p>学校自主企画事業は、各校が独自性を発揮し、自校児童生徒に必要な学力を育成するために効果的な事業と考えます。各校においては、大変ありがたい事業です。しかし、学力向上に資するという視点からの検証は非常に難しいと考えます。したがって、企画の申請段階や事業終了後の評価を適切に行うことを希望します。</p> <p>宇和島市の児童生徒の学力については、課題は多いと考えています。その一指標としての標準学力調査は、結果をどう反映させるかが課題です。調査が開始されてからある程度の年数が経過したことと思うので、その結果の分析を丁寧に行っていただきたいと思えます。</p> <p>コロナ禍での「UWA J IMA ジョブチャレンジU-15スタートセッション」の開催ができないという状況は理解できます。今後は、一堂に会してという考え方から開催方法の工夫へと考え方の転換が必要となったものと考えます。</p> <p>中学校地域教材「宇和海」の発行は、道徳教育の充実の一助となったと考えます。今後はその活用事例の蓄積と評価の在り方の研修の充実を期待します。</p>	
今後に向けた取組方針	<p>学校自主企画事業及び標準学力調査については、実施効果を丁寧に分析し、今後も学力向上や授業改善へつながらよう事業となるよう努めてまいります。また、道徳教育につきましても、地域教材「宇和海」の更なる活用を図るとともに、より良い評価の在り方について研修を深めて参ります。</p> <p>ジョブチャレンジスタートセッションについては、開催方法について改めて検討を行う予定であります。</p>	

項目	1 学校教育			
重点施策	(2) 一人一人を生かす生徒指導の徹底			
個別事業・施策名	適応指導教室運営事業、ハートなんでも相談員設置事業、スクールソーシャルワーカー活用事業	予算 執行 状況	予算額	4,181千円
			決算額	4,123千円
			不用額	58千円
事業区分	市単独事業 県費補助事業 国庫補助事業		繰越額	0千円
施策概要	<p>【適応指導教室運営事業 898千円】 宇和島市こども支援教室「わかたけ」へ教育相談員6名を配置し、不登校またはその傾向がある児童生徒に対して学校復帰への支援（学習指導や体験活動を通じた適応指導）を行っています。また、不登校や問題行動等、子育てで悩みを抱える保護者に対する教育相談も行っています。</p> <p>【ハートなんでも相談員設置事業 1,788千円】 小学校6校（児童数の多い学校が中心。中学校についてはスクールカウンセラーが配置されているため除外）へ相談員を配置し、不登校や問題行動の早期発見及び解決に向け、児童生徒、保護者、教職員等に対して相談活動を行っています。</p> <p>【スクールソーシャルワーカー活用事業 1,495千円】 宇和島市教育委員会にスクールソーシャルワーカー4名（令和3年度に1名増員）を配置し、関係機関と連携しながら、困難な家庭環境に置かれた児童生徒への支援、当該家庭への働き掛けを行っています。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・家庭・地域社会及び関係機関が行動連携する開かれた生徒指導の推進 ○基本的な生活習慣の育成と個の特性に応じた指導の充実 ○いじめ・非行の根絶に向けた指導の徹底と不登校への対応 			
	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>【適応指導教室運営事業】 令和3年度は、通室生18名（宇和島17名、鬼北1名）に対し、学習指導や体験活動（野菜づくり、調理、陶芸、スポーツ、ボランティア活動等）を通して学校復帰や自立に向け、一人一人の自尊感情を高めることを中心に据えて支援を行いました。</p> <p>【ハートなんでも相談員設置事業】 令和3年度は明倫・和霊・住吉・番城・三間・岩松の6校に相談員を配置しました。1年間で児童や保護者、教職員から365件の相談が寄せられ、不登校への対応や友人関係の悩みの解決に当たりました。</p> <p>【スクールソーシャルワーカー活用事業】 依然として家庭状況に起因する不登校や問題行動が増加しています。また、中学生の不登校人数が増加傾向にあります。これらの対応に向けてスクールソーシャルワーカーを1名増員し、4名が市内6つの校区を分担し、各校のケース会議に参加したり家庭訪問を行ったりと改善に向けて働き掛けを行いました。</p>			

事業の成果	<p>【適応指導教室運営事業】 「わかたけ」の通室生18名のうち、約8割の児童生徒に状況の改善が見られたことは大きな成果であると考えます。令和4年度からは、城東中学校に「校内サポートルーム」が新設されることもあり、今後も隣接の小中学校との連携をさらに深めながら、登校に不安を感じている児童生徒の「心のよりどころ」を提供できるよう、努めて参ります。</p> <p>【ハート何でも相談員】 ハート何でも相談員に寄せられた365件という相談件数は一昨年から引き続いて減少傾向にありますが、相談内容はより具体的になり、児童生徒及び保護者の抱えるしんどさに寄り添う対応ができております。今後も児童生徒や保護者のみならず、教職員にとっても安心できる場であり続けるよう努めて参ります。</p> <p>【スクールソーシャルワーカー】 スクールソーシャルワーカーにつきましては、御意見をいただいた通り小学校段階での不登校傾向対応を充実させ、早期発見・早期解決への努力を継続して参ります。</p>
	<p>【課題・問題点】 依然として全児童生徒数に対する不登校児童生徒数の割合が増加傾向にあります。令和4年度は、スクールソーシャルワーカーのさらなる増員を含めたケアサポートの充実を図り、いじめや不登校を生み出さない学級経営、学校経営の質の向上に努めて参りたいと思います。</p>
自己評価	
学識経験者意見	<p>増加傾向にある不登校児童生徒の居場所となることのできる適応指導教室が関係者の努力でスムーズに運営できていることに感謝します。宇和島市だけでなく近隣町の不登校児童生徒の受け皿として機能していることは評価すべきと考えます。 城東中に令和4年度新設される「校内サポートルーム」の取組に期待しています。</p> <p>ハートなんでも相談員やスクールソーシャルワーカーの必要性は、今後も続くと想像します。その人材確保やより効果的な活用をお願いしたいと思います。</p>
今後に向けた取組方針	<p>城東中学校の校内サポートルーム事業は、今後の不登校傾向のある児童生徒の居場所づくりの核となるものと考えます。今年度蓄積したサポートルーム運営のノウハウを市内の小・中学校と共有し、増加傾向にある不登校児童生徒にとってよりよい受け皿づくりを今後も推進して参ります。</p>

項目	1 学校教育			
重点施策	(3) 教職員の資質・能力と指導力の向上			
個別事業・施策名	教育指導事業（市教研研究指定校研究推進・教科等研究委託料）・学校自主企画事業【再掲】	予算 執行 状況	予算額	496千円
			決算額	383千円
事業区分	市単独事業		不用額	113千円
			繰越額	0千円
施策概要	<p>【教科研究委託料 496千円】 教職員の資質・能力と指導力の向上に資するため、市教育研究大会及び教科等研究委員会を開催しています。</p> <p>【学校自主企画学習事業【再掲】 3,048千円】 各小・中学校が、児童生徒の学力向上と併せて、教師の授業力の向上に資する目的で学校自主企画学習事業を展開し、教師の資質・能力の向上と指導力の向上を図ります。</p> <p>【教職員の不祥事防止】 校長研修会、教頭研修会及び教務主任研修会等において示達やグループ協議等を行い、教職員の不祥事防止に努めます。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○教育専門職としての自覚と資質・能力の向上 ○「主体的・対話的で深い学びの実現」に向けた研修の充実 ○多様な研修機会の確保と支援 ○体罰・信用失墜行為をはじめとする教職員の不祥事防止 			
	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>【宇和島市教育研究大会】 「主体的・対話的で深い学び」に視点を当て、2年サイクル×3期＝6年間を通じた研究を行っています。令和3年度は、第2期の1年目に当たり、「対話的で深い学び」を研究の中心に据えつつ、①他者の発言をもとにした自分の意見の構築、②基礎的・基本的な技能の向上と支持的風土の確立、③授業と連動させた家庭学習の充実、④ICT機器の効果的な活用について研究を進めました。</p> <p>【学校自主企画事業】 小学校28校、中学校6校における学力向上に係る自主的な企画に対して、財政的な支援を行いました。令和3年度は、読解力向上研修会、俳句教室、表現力向上プログラム、コミュニケーション能力向上講座、食育講座、プログラミング教室、SDGsに関する学習会等、各校の創意工夫により様々な取組が展開されました。</p> <p>【教職員の不祥事防止】 毎月実施している定例校長研修会での課長示達を始め、各種研修会や通知により、綱紀の保持及び服務規律の徹底について繰り返し指導を行いました。</p>			

事業の成果	成果	<p>【宇和島市教育研究大会】 ICT機器の効果的な活用について研究を進めた結果、意見の共有、振り返り、予習・復習への活用等の場面において、一人一台端末が積極的に活用されるようになりました。また、話し合いマニュアルの作成、活用も進みました。</p> <p>【学校自主企画事業】 令和3年度も、各校の実情に応じた多様な実践が行われました。市内の全小中学校が本事業を活用し、そのうち、32校が事業後のアンケート調査で、「本事業の効果を実感した」と回答しました。また、「地域との協働のために欠かせない事業である」「この事業のおかげで現地に行き生きた活動を見学したり体験したりできるため、社会科の学習等で大変助かっている」との声も聞かれました。今後も積極的な活動を促していきます。</p> <p>【教職員の不祥事防止】 校長研修会を始め、様々な機会を捉えて指導を継続した結果、令和3年度も大きな不祥事の報告はありませんでした。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>【宇和島市教育研究大会】 学習においてICT機器の活用が進む一方で、「教員によるタブレット操作技能や使用状況の差」が問題となっております。また、今後は、授業改善に向けて、教員のファシリテーションスキルの向上にも努める必要があります。</p> <p>【学校自主企画事業】 多くの学校が事業の継続を希望する中、今後は、学力向上の視点から、本事業がどの程度効果を上げているのかを各校で検証していく必要があると考えております。</p> <p>【教職員の不祥事防止】 令和3年度、大きな不祥事は発生しなかったものの、それにつながる恐れのある事案は数件発生しております。今後も、実際にあった事例に基づく研修を行うなど、教職員の心に響く研修を実施することにより、不祥事の未然防止に努めます。</p>
学識経験者意見	<p>教員の資質・能力向上の一方策は授業公開と考えます。互いに切磋琢磨できる環境を維持していただきたいです。一人一台端末を整備したことで、今後は、授業にICT機器を効果的に活用することのできるスキル向上のための教員研修の充実をお願いします。</p> <p>学校自主企画の活動が児童生徒の学力向上と並行して教職員の授業力の向上につながっていくよう期待しています。</p> <p>教職員の不祥事防止については、常に心を引き締め、継続的で効果的な研修の在り方を探っていただきたいと思います。</p>	
今後に向けた取組方針	<p>今後も宇和島市教育研究大会事務局と連携し、ICT機器の効果的な活用方法や教員の授業力向上に向けた研修の充実を図って参ります。</p> <p>また、教職員の不祥事防止につきましても、気を緩めることなく、校長研修会や教頭研修会をとおして、管理職に対する指導を継続して参ります。</p>	

項目	1 学校教育			
重点施策	(4) 創意工夫に富む学校づくりの推進			
個別事業・施策名	特色ある学校づくり推進事業 補充学習支援事業	予算 執行 状況	予算額	9,705千円
			決算額	7,928千円
事業区分	市単独事業 県費補助事業 国庫補助事業		不用額	1,777千円
			繰越額	0千円
施策概要	<p>【特色ある学校づくり推進事業 5,325千円】 児童生徒、学校及び地域の実態に即した「特色ある学校づくり」を推進するため、小中学校の「総合的な学習の時間」の実施について支援します。</p> <p>【補充学習支援事業 4,380千円】 児童生徒一人一人が確かな学力を身に付けることができるようにするため、学校・家庭・地域連携推進事業「えひめ未来塾」において、地域の教育力を活用し、市内の小中学校に補充学習のための支援員を配置し、放課後等の時間に教職員とともに児童生徒の補充学習を支援しています。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<p>○児童生徒・学校・地域の実態に即した特色ある学校づくり ○学校運営協議会を核とする地域とともにある学校づくり</p>			
実施状況	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>【特色ある学校づくり推進事業】 地域のみかん農家を訪問して摘果体験を行ったり、宇和島大空襲の体験者を招き、講話を聴くことで平和について考えたりするなど、地域に根差した実践がなされています。</p> <p>【補充学習支援事業】 小学校19校、中学校6校、計25校が申請し、57名の支援員を配置いたしました。各学校の児童生徒の実態に応じて、週1～2回、1～2時間程度の支援を実施しています。支援員は、教職員OBや地域学校協働活動推進員等の地域人材を活用し、参加児童生徒に対して、県や市が提供する学習シート等を使用して学習支援を行っています。また、令和2年1月から整備された「一人一台端末」を活用し、デジタルドリル学習を行うなど、児童生徒の特性に応じた実践がなされています。</p>			

事業の成果	成果	<p>【特色ある学校づくり推進事業】 各校の実情に応じた柔軟な発想による活動を具体的に支援することができました。来年度も御指摘いただきましたとおり地域の人材を活用できるよう、周知していきたいと思ひます。</p> <p>【補充学習支援事業】 一人一人の特性に応じた「個に応じた学び」を提供するためにも、指導者育成と一人一台端末の活用を今後も進めて参りたいと思ひます。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>【特色ある学校づくり推進事業】 学校自主企画同様、多様な実践が増えている一方で、継続実践として報告が挙がっている場合もあります。効果を上げているがゆえの継続なのかどうかの検証が今後必要であると認識しています。</p> <p>【補充学習支援事業】 指導者・支援者の理解と習熟が不可欠です。今後も指導者・支援者への研修会への参加を促すなど習熟の深まりを促してまいります。</p>
学識経験者意見		<p>特色ある学校づくり推進事業は、長く続く効果的な事業です。各校が継続的に実施している実践には、大きな成果をもたらしているものが多いと思ひますが、時代の流れや地域の実情に合わないものが出てきていないかと少し心配する面もあります。今後も、各校の特色ある学校づくりに期待しています。</p> <p>補充学習支援について、放課後以外に夏季休業中を活用した事例があると聞き、各校工夫した活用がなされていると思ひます。</p>
今後に向けた取組方針		<p>特色ある学校づくり事業及び補充学習支援事業について、事業内容が各校、地域の実情と合致したものであるかどうかを、今後、あらためて各校で検証し、さらによりよい活動を目指して参ります。</p>

項目	1 学校教育			
重点施策	(5) 健康・安全教育の推進			
個別事業・施策名	教育助成事業 心の健康チェック事業	予算 執行 状況	予算額	24,256千円
			決算額	20,922千円
事業区分	市単独事業		不用額	3,334千円
			繰越額	0千円
施策概要	<p>【健康・体力の向上】23,956千円 宇和島市小中学校体育連盟が中心となって、市内全体の児童生徒を対象とした体育行事を実施し、児童生徒の体力向上や運動能力の育成、競技力の向上、健全育成に努めています。また、中学校部活動においては、各種練習試合・試合等へ参加することで、意欲および競技力の向上に努めています。</p> <p>※ 小中学校体育連盟への補助金 ※ 選手派遣旅費補助事業 ※ 中学校各種大会補助金</p> <p>【教職員のメンタルヘルス対策】300千円 自身のストレスへの気づきを促し、メンタルヘルス不調を未然に防止すること、ストレスの原因となる職場環境の改善につなげることを目的として、令和2年度より全教職員を対象に行いました。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<p>○健康的で衛生的な生活習慣の確立と体力の向上 ○安全教育・防災教育の充実による児童生徒の危機対応能力の育成 ○教職員一人一人の安全管理・危機管理の徹底 ○教職員のメンタルヘルス対策</p>			
	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>【健康・体力の向上】 コロナ感染症予防のために2年間中止となっていた「市小学校水泳記録会」ですが、感染症対策を万全にし、無観客とした上で開催いたしました。また10月には市小学校陸上運動記録会も無観客で開催し、多くの児童が各学校の代表として様々な競技で競い合うことができました。中学校においては、6月に「市郡総体」を開催するなど、コロナ禍ではありますが、小・中学校いずれも健康・体力の向上に向けて少しずつ前進しています。</p> <p>【教職員のメンタルヘルス対策】 対象者471人中、445人（回答率94.5%）がストレスチェック（職業性ストレス簡易調査票）を行いました。高ストレス者は31名いましたが、面接指導の申出をした教職員はいませんでした。就労時間が長くなるに従ってストレスは上昇する結果になっており、時間外労働時間の削減に向けた努力が必要です。</p>			

事業の成果	成果	<p>【健康・体力の向上】 一昨年同様新型コロナウイルス感染症の影響は大変大きく、健康・体力の向上を目的とした種々の活動も変更・中止を余儀なくされました。しかしその中で各校・各団体が児童生徒の安全を最大限確保するためにできる限りの工夫をしたうえで実践できたことは大きな成果であると考えます。</p> <p>【教職員のメンタルヘルス対策】 高い割合でストレスチェックを受けていただけていることは一定の成果であると考えます。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>【健康・体力の向上】 社会的にウィズコロナの機運が高まっている一方で、学校現場では依然として強い行動要請を強いている場合もあり、場面に応じた適切な対応がより一層求められていると認識しております。</p> <p>【教職員のメンタルヘルス対策】 面接指導自体を負担に感じる教職員もいると聞いています。今後はメンタルヘルス対策と同時に教職員の働き方改革にも注力し、就労時間の短縮及び教職員のウェルビーイングの実現を目指して参ります。</p>
学識経験者意見		<p>体育関係の各種大会が、感染予防対策を工夫しながら実施できている状況をありがたく思っています。関係者の努力に感謝いたします。 コロナ禍における児童生徒の顕著な体力低下は見られないということですが、運動の機会が減っていることは明らかだと思います。児童・生徒の健康・体力の向上にも目を向ける方策を工夫していただきたいと思えます。</p> <p>教職員のメンタルヘルス対策としてストレスチェックを行うことで教職員が自分自身を知ることができることは大切です。同時に働き方改革にも注視していただいていることはありがたく思います。教職員が自分自身が公私ともに充実していると思える働き方になることを期待しています。</p>
今後に向けた取組方針		<p>児童生徒の運動機会の確保については、新型コロナウイルスの感染防止に努めつつ、十分な運動量を確保できる活動となるよう、学校に対して改めて指導を行って参ります。</p> <p>また、教職員の働き方改革については、今後も業務改善検討会で協議を行い、特に教職員の意識改革を図って参ります。</p>

項目	1 学校教育			
重点施策	(6) 人権・同和教育の推進			
個別事業・施策名	教育指導事業	予算 執行 状況	予算額	0千円
			決算額	0千円
			不用額	0千円
			繰越額	0千円
事業区分	市単独事業			
施策概要	<p>【小中学校人権・同和教育推進事業】</p> <p>校長研修会において、年1回、人権・同和教育に関する研修を実施し、管理職として正しい認識の下、自校の人権・同和教育をどのように進めていけばよいか考える機会を設けています。</p> <p>また、各学校においては、人権・同和教育の全体計画と年間指導計画を作成し、全教育活動を通じて推進しています。各学校とも人権・同和教育に関する懇談や授業参観を位置付け、児童・生徒だけでなく、保護者や地域も一緒に学習する機会を設けています。</p> <p>さらに、南予地区人権・同和教育研究協議会への参加を通して、他地域の推進状況を知ることにより、各学校の取組が充実したものになるよう努めています。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○同和問題をはじめとする様々な人権学習の推進 ○人権・同和教育に関する教材・資料等の研究開発の促進 ○仲間意識に支えられた集団づくりの推進 			
	(2) 施策・事業の実施状況			
<p>各学校では、人権・同和教育全体計画の下、各学年ごとに、児童生徒の発達段階に応じて具体的な指導内容・方法を記した指導計画を作成し、日々の教育活動を進めています。</p> <p>また、定例校長研修会において「レインボープライド愛媛」のエディ氏を招き、LGBTに関する研修を実施しました。今後、児童生徒からLGBTについて打ち明けられた時に学校はどのような対応ができるかなど、具体的な事例について話し合いを行いました。</p> <p>また、文部科学省指定人権教育総合推進地域事業（令和2年度～4年度）の指定を受けている三間中学校区については、小学校3校と中学校1校が連携し、人権・同和教育の視点による授業公開を行い、教職員の指導力の向上に取り組みました。</p>				

事業の成果	成果	<p>令和3年度も、各校で作成している人権・同和教育全体計画の下、道徳や社会の学習を中心として人権・同和教育学習を進めることができました。</p> <p>また、校長研修会で実施したLGBT研修では、「当事者の苦悩やしんどさを知った」「LGBTの児童生徒がいた場合、どのように接してよいか分からなかったが、今回、そのヒントになった」との意見が出されました。今回の研修は、校長先生方がLGBTについて考えるよいきっかけになったと思います。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>人権・同和教育については、管理職の捉え方によって、その取組に大きな差が見られます。今後も、校長研修会を始め、管理職を対象とした研修会の充実を図る必要があります。</p>
学識経験者意見		<p>人権・同和教育への地道な実践が積み重ねられています。学校の取組が地域に発信され、地域の取組が学校の教育活動に取入れられ、双方向の実践が充実していくことを期待します。</p> <p>令和4年度に実施される三間中学校区の文部科学省指定人権教育総合推進地域事業に多くの教職員が参加し、その研究成果を共有することを期待しています。</p>
今後に向けた取組方針		<p>人権・同和教育の更なる充実に向けて、今後も管理職を対象とした研修を継続して参ります。また、学校に対しては、今後、特に保護者や地域住民の啓発に積極的に取り組むよう指導を続けて参ります。</p>

項目	1 学校教育			
重点施策	(7) 教育の機会の充実と整備			
個別事業・施策名	学校教育活動支援員配置事業	予算 執行 状況	予算額	141,892千円
			決算額	141,876千円
			不用額	16千円
			繰越額	0千円
事業区分	市単独事業			
施策概要	<p>【特別支援教育の充実】 141,892千円 小中学校に在籍する教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対して、適切な教育（特別支援教育）を行うために、合理的配慮の一つとして、学校教育活動支援員を配置し支援を行っています。</p> <p>また、教育支援体制の充実を図るため、宇和島市特別支援連携協議会を設置し、保・幼・小中高等学校・特別支援学校および福祉・就労・福祉・保健・教育分野から委員を選定してよりよい連携のあり方を検討しています。</p> <p>早期からの支援や特別なニーズへの対応、適切な就学先の検討については、宇和島市教育相談の実施および宇和島市教育支援委員会での検討を行っています。</p> <p>【へき地教育の振興】 へき地学校や小規模校の中には、複式学級を有する学校もあり、その特性を生かした学校・学級経営の充実を図らなければなりません。児童の主体性・創造性を伸ばすとともに表現力やコミュニケーション能力を向上させるために、交流学习会の実施や積極的な交流を行っています。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<p>○一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実 ○地域の特性を生かした創意あるへき地教育の振興</p>			
	(2) 施策・事業の実施状況			
<p>【特別支援教育の充実】 発達障がい等のある通常の学級の児童生徒や支援学級在籍の児童生徒に学校教育活動支援員が配置されており、授業の中で教員が個別支援が難しい部分を支援をするという手厚い支援体制が整っております。小学校児童254名、中学校生徒83名に対して156名の学校教育活動支援員が配置されました。また、支援員の支援技術の向上のため、オンラインでの研修も行っております。</p> <p>宇和島市特別支援連携協議会では、オンラインを活用しながら協議を深めました。宇和島市の連携の課題を共通理解し、各地域での課題も情報共有しました。</p> <p>宇和島市教育相談については、夏季休業中に4日間、冬期休業中に3日間、総合福祉センターで行いました。その他にも、各園・学校で随時教育相談を行い、一人一人の児童生徒の実態に合わせた学びの場を本人や保護者と共に考えました。</p> <p>【へき地教育】 一人一台端末の導入により、学校同士をオンラインでつないで積極的な交流が行われるようになりました。</p>				

事業の成果	成果	<p>【特別支援教育の充実】 学校教育活動支援員と担任や授業担当者が連携を行い、児童生徒の持っている力が最大限発揮できるよう支援を行うことができました。 宇和島市特別支援連携協議会では、6校区に分かれた地区協議会を中心に、宇和島市の連携について協議を行うことができました。各段階ごとのつなぎの部分について次年度考えていくという方向性が決まりました。 宇和島市教育相談は、161件（145名）実施いたしました。その中で、就学に関する相談（年長、小学6年生）が57%を占めています。教育相談の希望者が多くなってきています。</p> <p>【へき地教育】 一人学級の児童が他の一人学級の児童とオンラインで一緒に授業をしたり、数校が合同で授業をしたりし、学び合いができるようになりました。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>【特別支援教育の充実】 学校教育活動支援員の配置が必要な児童生徒について、どの程度の支援時間が必要であるかの判断が難しく、学校の判断に任せきりになっている部分があります。 教育相談では、「満足感が得られなかった」という保護者からの意見もあり、調査員の研修が必要であると感じています。</p>
学識経験者意見		<p>特別な支援を要する児童生徒への理解が高まってきていることは実感できます。支援員の配置や教育相談の充実等も成果が出ていると考えます。また、以前に比べ保護者の教育相談への抵抗感が薄れていると感じます。今後は、その質が問われてくるのだと思います。</p> <p>へき地教育は、児童数の減少でますますその充実が望まれると考えます。一人一台端末の導入により、オンライン授業で他校との交流が実施できるようになったことは、非常に大きな成果であると考えます。今後も、その充実をお願いします。</p>
今後に向けた取組方針		<p>教育相談の質については、調査員の相談スキルや特別支援教育体制に対する知識向上に向け、研修を行いたいと考えています。また、へき地教育については、今後も一人一台端末を有効に活用し、充実した教育活動を進めることができるよう努めて参ります。</p>

項目	1 学校教育			
重点施策	(7) - 2 教育の機会の充実と整備			
個別事業・施策名	補充学習支援事業 うわじま土曜塾運営事業	予算 執行 状況	予算額	18,156千円
			決算額	16,754千円
			不用額	1,402千円
事業区分	補充学習支援事業 国庫・県費補助事業		繰越額	0千円
施策概要	<p>児童・生徒の基礎学力の向上と生きる力の育成を目指し、以下の2事業を実施しました。</p> <p>【補充学習支援事業【再掲】 4,380千円】 児童生徒一人一人が確かな学力を身に付けることができるようにするため、学校・家庭・地域連携推進事業「えひめ未来塾」において、地域の教育力を活用し、市内の小中学校に補充学習のための支援員を配置し、放課後等の時間に教職員とともに児童生徒の補充学習を支援しています。</p> <p>【うわじま土曜塾運営事業 13,776千円】（主管課：生涯学習課） 家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身につけていない等の理由により勉強の遅れがちな子どもに対し、学習の場を提供するとともに学習支援を実施し、学習習慣の確立と基礎学力の定着を図ることで、子どもたちの未来の可能性を伸ばす健全育成を目的にうわじま土曜塾を実施しました。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課外学習の支援と充実（各種検定への挑戦） ○ 学習習慣の確立、基礎学力の向上 			
	(2) 施策・事業の実施状況			
<p>【補充学習支援事業】（主管課：学校教育課） 小学校19校、中学校6校、計25校が申請し、57名の支援員を配置いたしました。各学校の児童生徒の実態に応じて、週1～2回、1～2時間程度の支援を実施しています。支援員は、教職員OBや地域学校協働活動推進員等の地域人材を活用し、参加児童生徒に対して、県や市が提供する学習シート等を使用して学習支援を行っています。また、令和2年1月から整備された「一人一台端末」を活用し、デジタルドリル学習を行うなど、児童生徒の特性に応じた実践がなされています。</p> <p>【うわじま土曜塾運営事業】（主管課：生涯学習課） 令和3年度は、毎週土曜日、5教室（中央公民館・和霊公民館・吉田公民館・岩松公民館・三間公民館）において実施しました。 小学生140名、中学生84名、計224名の児童・生徒に対し、36名のサポーターが個別指導に当たりました。児童・生徒からは「学校の授業の復習をしてくれるので、学校の授業についていくことができました。」という声が届いています。保護者へのアンケートでも「子どもが自分から机に向かい、勉強に取り組めることができるようになった。」「いつも書いてくれている細かいコメントや、用意してくれているプリントを見ると、とても熱心に指導してくれている様子が伺えました。」といった声が寄せられ、同事業に対しては満足度84%という高評価を頂いております。</p>				

事業の成果	成果	<p>【補充学習支援事業】（主管課：学校教育課） 配置した全ての学校で、児童生徒の学習意欲の向上や学習の習慣化につながったとの回答がありました。今後は一人一台端末の効果的な活用を含め、よりよい実践につながるよう努めて参ります。</p> <p>【うわじま土曜塾運営事業】（主管課：生涯学習課） うわじま土曜塾運営事業においては、新型コロナウイルス感染防止対策のため休講とした回もあり、5会場10教室で318回の開催となった。（昨年度比▲32回） サポーターについては、35人中半数以上の18名の方が教員OB・OGとしてその経験を活かし個別指導を行い、学習面だけでなく、生活面での支援等も行った。（相談件数18件） 児童生徒が通う学校と土曜塾の様子や指導内容等の情報共有を図り、学社融合・連携が図れた。</p> <p>《えひめ未来塾事業》 ○うわじま土曜塾 4,913人</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>【補充学習支援事業】（主管課：学校教育課） 一人一台端末の整備が完了し、学校現場での日常的な活用が始まりました。しかし、児童生徒のみならず指導者の習熟の度合いにより、活用頻度にも違いがあることが分かっています。今後は指導者への研修を通じ、より効果的・積極的な活用を推進して参ります。</p> <p>【うわじま土曜塾運営事業】（主管課：生涯学習課） 土曜塾においては、児童生徒の習熟度をこまめに把握し、個々に応じた学習プログラムを作成し、基礎学力の定着、学習習慣を身につけられるような取り組みが行えました。 引き続き、通塾者に「昨日わからなかったことが、今日からわかるようになる」という勉強の楽しさや喜びを教えていくとともに、体験学習を通じ、将来どのような自分になりたいかという希望と目標を持って、自らの意思で学ぶ場としたいと考えております。</p>
学識経験者意見	<p>補充学習に一人一台端末が活用されていることは、効果的だと考えます。指導者の活用スキルの向上を望みます。</p> <p>うわじま土曜塾が、施策の趣旨に基づき、効果的に運用されていることは成果であると考えます。また、指導者との人間関係の充実により通塾者からの学習や友人関係等の相談にも応じていただいているようで、感謝申し上げます。保護者の満足度も高く、継続が望まれる事業であると考えます。</p>	
今後に向けた取組方針	<p>【補充学習支援事業】（主管課：学校教育課） 補充学習における一人一台端末の活用について、さらに有効活用が図られるよう、今後、指導者に対する活用研修の実施について検討いたします。</p> <p>【うわじま土曜塾運営事業】（主管課：生涯学習課） サポーターに対して研修会（成功事例の発表する等）を定期的に開くことで、引き続きサポーターの学習指導や生徒指導のスキル向上に努めて参ります。 また、将来のことを考えるきっかけになるような体験活動なども多く取り入れ、将来どうなりたいかという希望と目標を持って、自らの意思で学ぶ場となるような運営を目指していきます。</p>	

項目	1 学校教育			
重点施策	(8) 幼稚園教育の振興と整備充実			
個別事業・施策名	幼稚園管理事業・幼稚園保健事業（コロナ対策分）	予算 執行 状況	予算額	8,034千円
			決算額	6,897千円
事業区分	市単独事業・国庫補助事業・県費補助事業		不用額	1,137千円
			繰越額	0千円
施策概要	<p>幼稚園において、特色ある運営を進めるとともに、主体的な遊びを通じ、心身を豊かにし、生きる力を育む教育に取り組んでいます。</p> <p>また、園児が安心して教育を受けることができるよう、さまざまな環境整備を行っているほか、多様なサービスの導入を検討し、保護者支援に努めているところです。</p> <p>公立施設について、平成30年4月に策定した就学前教育保育施設等整備計画をもとに、統廃合等による園の適正規模・適正配置を推進しています。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の実態に即した特色ある幼稚園づくり ○生きる力の基礎を培う教育内容の精選と指導方法の充実 ○幼・保・小の独自性を踏まえたうえでの連携強化 ○子ども・子育て支援新制度に基づく、より良い幼稚園教育の充実 ○公立幼稚園の適正規模・適正配置の推進 			
	(2) 施策・事業の実施状況			
<p>保護者の経済的負担を軽減するために保育料を無償化しているほか、幼稚園教諭（会計年度任用職員）の処遇改善を実施し、また、感染症対策のための要望物品の支給を行うなど、教育環境の充実に努めました。</p>				

事業の成果	成果	<p>公立幼稚園において、施設の要望に応じ新型コロナウイルス感染症対策物品を支給し感染症対策を徹底したことで、園での感染者はなく、安全・安心な教育環境の確保が出来ました。</p> <p>また、幼稚園教諭（会計年度任用職員）の処遇改善を行い、質の高い幼児教育の充実のための人材確保に繋げることが出来ました。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>幼児期は、人格形成の基礎を培う重要な時期であることから、質の高い幼児教育の充実や保育サービスの総合的な提供が求められています。</p> <p>また、すべての幼児が、次世代を担う子どもたちが社会情勢の変化に対応していくために、幅広い知識と柔軟な思考力による新しい知識や価値を創造する生きる力を育む支援に支援に取り組む必要があります。</p> <p>そのためには、幼保が一体となり、教育・保育の内容と環境の充実、地域等との連携強化に努めなくてはならないほか、発達や学びの連続性を確保する観点から、小学校教育への円滑な接続を図るための体制整備に努めていかなければならないと考えています。</p>
学識経験者意見		<p>保護者の幼稚園へのニーズが激減し、園児数の減少に伴う公立幼稚園の統廃合が加速していることを現実として受け止めています。その中で、幼稚園教諭(会計年度任用職員)の処遇改善に取り組んでいただいたことはありがたく思います。また、新型コロナウイルス感染症の安全対策としての物品が支給され、安全な環境を整備していただいていることに感謝します。今後も幼児期の教育の重要性に鑑み、その充実を大きく期待しています。</p>
今後に向けた取組方針		<p>今後も引き続き、幼児教育・保育内容の充実や、必要な環境の整備に努めて参ります。</p>

項目	1 学校教育			
重点施策	(9) 教育施設環境の整備充実			
個別事業・施策名	小中学校管理事業、理科教育等設備整備事業（小中）、小中学校ICT環境整備事業、小中学校ICT環境監理事業、吉田統合小学校整備事業	予算 執行 状況	予算額	911,429千円
			決算額	681,941千円
事業区分	市単独事業、国庫補助事業		不用額	54,757千円
			繰越額	174,731千円
施策概要	<p>小中学校の施設について児童生徒が安心して学べる安全な施設の確保を目指し、施設の改修、補修、整備などを実施しました。</p> <p>また、令和6年4月開校予定の吉田統合小学校建築に伴い、設計業務を進めるとともに、地盤調査業務・敷地内の支障建物（部室棟）の解体撤去工事を実施しました。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校の適正規模・適正配置の推進（小中連携教育の検討） ○安全・安心な施設・設備の整備充実 ○質の高い教育を可能とする施設、設備、機器の整備充実 ○ICT環境の充実・活用の推進 ○温もりと安らぎが感じられる教育施設環境の充実 			
	(2) 施策・事業の実施状況			
<p>各学校から要望があった施設・設備の営繕箇所や備品の整備希望について、優先順位を付け、施設・設備の維持管理、補修及び校具・教具の整備を進めるとともに、より安心・安全な学校施設となるよう、非常通報装置や防犯カメラを新規整備しました。また、学校における環境衛生向上を図るため、小学校2校の大規模トイレ改修や、全小中学校各教室に空気清浄機を整備しました。</p> <p>令和6年4月開校予定の吉田統合小学校建築に伴い、敷地の地盤調査業務・敷地内の支障建物（部室棟）の解体撤去工事を実施しました。</p>				

事業の成果	成果	<p>小学校2校の大規模トイレ改修につきましては、予定どおり令和3年度中に改修工事を完了させ、長年の懸案であった悪臭や漏水等の課題を解決することが出来ました。また、児童生徒の安全確保を目的とした非常通報装置、防犯カメラ整備につきましても、前年度からの繰越を行い、全小中学校に整備することが出来ました。</p> <p>吉田統合小学校整備事業に関しましては、測量調査、地盤調査、支障建物撤去工事等を進めるとともに、令和4年度中の工事着手に向け、各種準備を進めています。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>学校施設の営繕業務に関しましては、小学校・中学校ともに建築40年～50年経過した学校が多く、老朽化による不具合等は増加の傾向にありますが、これまで以上に、学校現場との連携を密に、安心・安全な学校施設の管理に努めます。</p> <p>吉田統合小学校整備事業についても、令和6年4月の開校に向け、進捗に遅れが生じないよう、各関係部署等とも連携を図り進捗管理に努める必要があります。</p>
学識経験者意見		<p>限られた予算の中で、老朽化した学校施設の営繕修理については大きな課題があると考えます。</p> <p>トイレ改修については、学校は避難所となっている場合が多く、地域住民にとっても必要な改修です。また、プールについても各校改修の必要性を感じていると考えます。</p> <p>学校の安全は第一であります。学校施設の計画的な整備を切にお願いしたいと思います。</p>
今後に向けた取組方針		<p>学校施設については、今後も年数経過とともに老朽化が進むことも踏まえ、まずは児童・生徒・教職員の安全確保を第一に、長寿命化計画も参考にしながら優先順位を整理し施設管理に取り組みます。</p>

項目	1 学校教育			
重点施策	(10) 全国高等学校総合体育大会への取組み			
個別事業・施策名	高校総体推進事業	予算 執行 状況	予算額	1,600千円
			決算額	688千円
不用額	912千円			
事業区分	市単独事業		繰越額	0千円
施策概要	<p>令和4年度全国高等学校総合体育大会の卓球競技大会が宇和島市で開催されることとなり、先催地視察、市実行委員会の設立など、大会開催に向けた各種準備を行うものです。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	○令和4年度全国高等学校総合体育大会開催に向けた各種準備			
実施状況	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>○各種準備（通年） 関係機関等との連絡調整、各種資料及び調査整理、その他関係業務</p> <p>○先催地視察（富山市） ・7月7日～11日 令和3年度全国高等学校総合体育大会卓球競技大会 プログラム編成会議、公開抽選会 視察</p> <p>・8月10日～18日 令和3年度全国高等学校総合体育大会卓球競技大会 視察</p> <p>○市実行委員会の設立・第1回総会 11月25日 市総合体育館会議室にて（委員会メンバー：会長ほか17名）</p> <p>年度当初より、競技大会担当の派遣教員が当課へ出向し、ともに準備を進めました。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により大会が中止、令和3年度大会も無観客での開催、さらに富山市は市実行委員会の設立は無く、これまでの多くの情報が入手できない状況の中、愛媛県実行委員会、関係競技団体等と連携し、概ね順調に準備を進めることができました。</p>			

事業の成果	成果	<p>愛媛県実行委員会ほか関係団体との調整を随時行い、業務の停滞を招くことなく準備を進めることができました。</p> <p>また、当市独自の対応として、競技会場となる市総合体育館へ大会開催PR用の横断幕を設置し、県の取り組みと並行して機運醸成の一助となりました。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>全体を通じて、大会スポンサーや全国高体連の意向を踏まえながらその準備を進める必要があるため、今後も連絡調整を密に行う必要があります。</p>
学識経験者意見		<p>全国高等学校総合体育大会の卓球競技大会の準備を着々と進めていただいていることがよく分かります。</p>
今後に向けた取組方針		<p>今後も愛媛県実行委員会や関係競技団体等と連携し、大会成功に向けて準備を進めてまいります。</p>

項目	2 社会教育			
重点施策	(1) 豊かな心を育てる社会教育の推進			
個別事業・施策名	社会教育総務事業、成人式事業、中央公民館管理事業、地区公民館運営事業、公民館活動推進事業	予算 執行 状況	予算額	36,429千円
			決算額	31,660千円
事業区分	市単独事業		不用額	4,769千円
			繰越額	0千円
施策概要	<p>地域づくりと生涯学習の充実、生涯学習を通じた市民の自己実現を目指し、市民が様々な学習機会を選択でき、あらゆる年代が気軽に参加できるよう、公民館において、多様な学級・講座を開催しています。また、地域と公民館による共同での事業実施を推進することで、地域と行政の連携体制を構築しています。</p> <p>社会教育の重要な担い手として活動を展開してきた各社会教育団体に対し、専門的、技術的な指導、助言及び情報提供を行うことで、団体への支援、育成を図っています。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯を通じた学習機会の提供 ○社会教育施設環境の充実 ○地域と連携した公民館活動の促進 ○防災意識の推進と危機管理意識の向上 ○社会教育関係団体の育成・支援 ○教育機関や地域と連携した学習機会の提供 			
実施状況	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>令和3年度も昨年度同様に新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を徹底し、事業展開を行ってきました。</p> <p>急速な社会教育を取り巻く環境の変化により、多様化・高度化する住民のニーズを満たすために、生涯学習センターや公民館において各種事業や学級・講座を実施し、学習機会の創出、生涯学習活動の推進と心のふれあいまちづくりに努めました。</p> <p>公民館活動においては、夏祭り等の地域住民が多く参加する事業については、感染防止のため中止となったり、規模縮小を行った上での実施となりましたが、少人数で実施できる講座を中心とし、地域ニーズに即した生涯学習活動の推進を図りました。</p> <p>社会教育関係団体のうち、愛護会、婦人会、PTAに対しては地区公民館活動への支援依頼や情報提供を実施するとともに、組織の運営に対して活動活性化のために支援を行いました。</p>			

事業の成果	成果	<p>地区公民館において各種学級、講座を開催し、多くの市民に学習機会を提供することができ、学習活動の推進が図れました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地区公民館学級講座 <ul style="list-style-type: none"> ①青年向け講座：11回276人 ②女性向け講座：53回443人 ③公民館講座：48回652人 ④高齢者向け講座：111回901人 ⑤家庭教育講座：38回749人 ⑥人権・同和教育講座：8回316人 ●主催共催事業：843回19,110人 ●青少年体験活動事業：31回2,517人
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、多くの事業・講座が中止を余儀なくされる中で、内容変更や安全と安心に十分配慮するなどし、市民の学習ニーズに沿った生涯学習活動の推進が図れました。</p> <p>これからも市民の主体的な参画による持続可能な地域づくりを進めるために、「いつでも、どこでも、だれでも」主体的に学ぶことができ、豊かな心を育てる生涯学習社会の確立を目指す活動を行って参ります。</p>
学識経験者意見		<p>令和3年度も、市民の方々へ向けた生涯学習において、市民のニーズや社会の変化に対応した学習機会の提供については、コロナ禍の中縮小を余儀なくされていますが、これまでの取り組みをもとに様々な機関や団体と連携し、幅広い世代に向けた生涯学習の推進に一層取り組んでいただきたいと思います。</p> <p>公民館活動においても、地域の方々の生涯学習、交流の場としての利用も少なくなる中、各公民館におかれましては、関係機関や地域の各団体と連携を取りながら「集う・学ぶ・結ぶ」という機能を活かし、各種学級や講座の開催、また、広報（館報）などで地域連帯感を高めたのではないのでしょうか。今後におかれましても、コロナ禍における生涯学習の在り方を検討しながら、学習機会の提供に努めていただければと思います。</p>
今後に向けた取組方針		<p>持続可能な地域づくりを進めるために、地域ニーズに応じた学習機会の提供に努めて参ります。</p> <p>愛護会、婦人会、PTA等の社会教育関係団に対しては引き続き組織運営の活動活性化のために支援を行って参ります。</p>

項目	2 社会教育			
重点施策	(2) 地域社会と連携した子どもの健全な育成			
個別事業・施策名	家庭教育支援事業（国補）、青少年補導育成事業、地域学校協働活動推進事業（国補）、放課後子ども教室推進事業（国補）、放課後児童健全育成事業（国補）、放課後児童健全育成事業（コロナ対策分）、子どもの居場所確保緊急対策連携事業（コロナ対策分）	予算 執行 状況	予算額	114,475千円
			決算額	110,838千円
事業区分	市単独事業 県費補助事業 国庫補助事業		不用額	3,637千円
			繰越額	0千円
施策概要	<p>青少年の非行防止及び健全育成を図るため、適切な補導計画と補導技術の修得により、街頭補導や広域補導を強化し、相談事業等を推進するとともに、関係機関との連携を図り、青少年を巡る環境の浄化に努めています。</p> <p>家庭教育力の向上を目指して、地域人材を活用した家庭教育支援チームを中心に、子育て中の保護者と豊かな人間関係を形成しながら、様々な活動を通して保護者の悩みを引き出しながら解決の支援を行っています。</p> <p>学校と地域の連携体制の構築を推進しながら、地域住民の積極的な学校支援活動を通じて、地域の教育力の向上と教員の負担軽減を図っています。</p> <p>『放課後子ども総合プラン』として児童クラブとも連携しながら、児童の放課後の安心・安全な居場所づくりを推進しています。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○学校・家庭・地域住民等の連携促進及び教育力の向上 ○家庭教育の充実をめざすための育成・支援 ○子どもの安心・安全な居場所作り、体験活動の推進 ○健全育成をめざす地域活動の促進 ○補導、相談活動及び体制の充実 			
実施状況	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>青少年補導育成事業では、少年センターと少年補導委員連絡協議会が協働して、全市を対象とした街頭補導、環境浄化活動（有害図書の回収、処分及び不法掲示物の撤去など）、相談活動（電話及び面談）を実施し、地域での青少年健全育成及び非行防止に努めました。</p> <p>国、県の補助事業である『学校・家庭・地域連携推進事業』を活用し、地域学校協働活動推進事業、放課後子ども教室推進事業、家庭教育支援事業、えひめ未来塾事業を実施しました。地域人材の力を活用し、学校（子どもたち）を核とした地域づくりを推進するとともに、地域の教育力の向上を図りました。</p> <p>地域学校協働活動については、CSと協働し「学校を核とした地域づくり」を推進していくために幅広い地域住民や企業・団体等の参画・協働により、学習支援、体験活動及び地域を取り巻く喫緊の課題解決のため、地域の実情に応じた活動を行いました。</p> <p>放課後子ども教室推進事業では、地域住民の協力を得て、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するとともに、今年度から生涯学習課に所管替えされた放課後児童健全育成事業と補いながら、放課後における児童の安全・安心な居場所作りを行いました。</p> <p>家庭教育支援事業では、『宇和島市家庭教育支援チーム』を中心に、全市を対象とした子育て学習会、広報活動を実施し、家庭での教育を支援しました。広報活動としては、年3回、広報誌『てとてと手』を発行し、学校・家庭・地域連携推進事業全体の啓発を行いました。</p>			

事業の成果	成果	<p>街頭補導、相談事業等を通じて、青少年の健全育成に寄与することができました。</p> <p>1. 街頭補導 ①補導回数 117回 ②補導員数(延べ) 503人 ③補導・声かけ件数 1,484件</p> <p>2. 相談件数 59件</p> <p>3. 白ポスト ①3箇所設置 (レディ薬局中央店外、祝森・高光ローソン各店外) ②回収状況 ビデオ・DVD 291本、雑誌 546冊</p> <p>「学校・家庭・地域連携推進事業」では、『地域学校協働活動推進事業』『うわじま土曜塾運営事業』『家庭教育支援事業』『放課後子ども教室』の4事業を継続的に実施しています。</p> <p>「学校を核とした地域づくり」を目指すため、地域と学校が連携・協働して地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく様々な活動を推進するため、地域と学校をつなぐ地域学校活動推進員が中心となり、地域住民や豊富な社会経験を持つ外部人材等、関係者間でコミュニケーションを図りながら活動を行いました。</p> <p>《地域学校協働活動》 ①登下校に関する対応 3,605回 ②放課後・夜間における対応 206回 ③地域ボランティアとの連携調整 556回 ④児童生徒の休み時間における対応 3回 ⑤校内清掃への参加・見送り 134回 ⑥部活動補助 472回 ⑦給食時の対応 6回 ⑧授業準備・補助 150回 ⑨学校行事等の準備・運営 262回 ⑩進路指導の補助 3回 ⑪環境整備等 516回 ○上記活動に参加したボランティア人数 25,516人</p> <p>《えひめ未来塾事業》 ○うわじま土曜塾 4,913人</p> <p>《家庭教育支援事業》 ○子育て学習会 10回 ○参加者 324人</p> <p>《放課後児童クラブ》 ○実施回数 3,193回 ○参加人数 84,220人</p> <p>《放課後子ども教室》 ○実施回数 1,865回 ○参加人数 21,741人</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>今後も「学校を核とした地域づくり」を推進するべく「学校・家庭・地域連携推進事業」を行い、宇和島の子どもたちの豊かな成長をサポートするために地域、学校、家庭の連携を一層密にし、地域学校協働活動の推進を図りたいと思います。</p> <p>また、「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」との連携を一層強化し、地域の方々と協働し、放課後等の安全・安心な拠点作り(居場所作り)を行って参ります。</p> <p>青少年育成事業においては、青少年が安全で、安心して健やかに成長できる環境づくりを行うために、引き続き学校、PTA、行政等が連携・協働し、地域社会全体で青少年を育てるという視点を持ち、街頭補導や環境浄化活動を行って参ります。</p>

<p>学識経験者意見</p>	<p>青少年補導育成事業では、青少年を取り巻く環境は大きく変化し、様々な課題が指摘されています。このような状況のもと、青少年の健全育成と非行防止のために、少年センターが「情報収集・発信センター」として機能を発揮し、学校・警察・関係団体・地域等との連携を一層密にしながら情報を共有し、地域を巻き込んだ青少年のためのより良い環境づくりに取り組んでください。</p> <p>地域学校協働活動につきましては、幅広く地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、学校を核とした地域づくりを目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働し、活動を通じて地域の課題解決や活性化など、子ども、学校、地域それぞれに対して様々な効果が期待できるよう、活動の推進を図って下さい。</p> <p>放課後子ども教室推進事業においては、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、子どもたちが、放課後子ども教室に参加することにより、学習習慣の定着や様々な体験を通じて経験を向上するほか、多くの地域の皆さんや異学年との交流を通じて、コミュニケーション能力の向上が期待されます。また、この教室の活動を通じて地域、家庭、学校、公民館が繋がり、子どもたちを守り育てる協力体制がさらに強まるものと期待しています。</p>
<p>今後に向けた取組方針</p>	<p>青少年補導育成事業につきましては、学校・警察・関係団体・地域等との連携・協働し、青少年の街頭補導や環境浄化活動に取り組んで参ります。</p> <p>地域学校協働活動につきましては、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくために、地域住民や企業・団体等と協働し、地域の実情に応じた活動を行って参ります。</p> <p>放課後子ども教室推進事業においては、地域の方々と協働し、子どもたちを守り育てる協力体制の構築を図るとともに、放課後等の安全・安心な拠点作り（居場所作り）を行って参ります。</p>

項目	2 社会教育			
重点施策	(3) 生涯学習の充実			
個別事業・施策名	生涯学習センター管理事業、中央公民館運営事業、地区公民館管理事業、住吉公民館改築事業、石応公民館改築事業、図書館事業	予算 執行 状況	予算額	248,433千円
			決算額	219,026千円
事業区分	市単独事業		不用額	11,557千円
			繰越額	17,850千円
施策概要	<p>生涯学習センターでは、市民の生涯学習活動拠点施設として、市民の学習意欲を増進する多彩な生涯学習講座の開講や、ホールや多目的室を利用した市民の発表の場の提供やイベントなど賑わいを生む趣向を凝らした事業・講座の実施に行っています。</p> <p>公民館などの生涯学習関連施設の整備や修繕を計画的に進めるとともに、学校などの教育施設とも連携し、より充実した学習環境となるよう努めています。</p> <p>中央公民館では「宇和島に残ろう・戻ろう・関わろう」とする人を育む「青少年市民協働センター（ホリバタ）事業」を実施。青少年のチャレンジを応援し、活動人口を育む人づくりに取り組んでいます。</p> <p>図書館は、パフィオうわじまの中央図書館を中心に、簡野道明記念吉田町図書館、中央図書館津島分館、三間公民館図書室が連携して市民のニーズに応えられるよう資料の収集・提供に努めるとともに、市民の読書推進に寄与する施策を進めています。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習推進体制の整備充実 ○生涯学習関連施設の整備充実 ○情報技術を活用した生涯学習の促進 ○市民に寄与する図書館活動の推進 ○生涯学習社会を支える人づくりの推進 ○特色ある生涯学習事業の展開 			
実施状況	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>生涯学習センターは、新型コロナウイルス感染症感染拡大予防対策を徹底し、子どもから大人まで幅広い世代に向け、学びの「きっかけ」を提供するためのさまざまな講座、イベントを行うことができました。</p> <p>公民館などの生涯学習関連施設については、昨年度に引き続き住吉公民館改築設計を実施するとともに、老朽化の著しい石応公民館の改築設計業務に着手しました。</p> <p>既存公民館においては老朽あるいは破損箇所の修繕を順次行い、利用者の利便性の向上や安心、安全の確保に努めました。</p> <p>ホリバタ事業では、①家でも学校でもない、第3の居場所（サードプレイス）としての居場所づくりと、②将来にむけた活動意欲の向上、多様な進路へのきっかけづくりのためのイベントを実施しました。</p> <p>今後も自由に気軽に利用できる居場所で、多様な分野に触れる・地域や社会を知る・多様な人と接することのできるイベントを実施して、多様な進路へのきっかけづくり、将来に向けた活動意欲の向上、中高生の学びの支援、社会への興味・関心の醸成などにつなげていきたいと考えています。</p> <p>仕事の最前線を知るトークセッション（ライフキャリアデザイントーク）、大学生と中高生がチームとなり、地域と課題について学ぶワークショップやフィールドワーク（うわじま∞あいだいプロジェクト）、多様な分野や最先端の研究を知ることができる講座（東京大学金曜特別講座）などを開催しました。</p> <p>図書館では、様々なテーマの特設展示を行い、市民の図書への関心を促す工夫を図りました。また、住民ボランティアの協力による読み聞かせ会、公民館等各施設への巡回配本、学校などへの団体貸出し、幅広い年齢層が楽しめる読書マラソンや福袋など、より多くの市民に読書に親しんでもらえるよう努めました。</p> <p>新型コロナウイルスへの対応としましては、館内における感染拡大の防止を図りつつ、ネットによる貸出対応や電子図書館等を活用して、市民の読書機会の確保に努めました。</p> <p>公民館で実施した学級・講座の講師をデータベース化した『生涯学習推進講師制度』を運用、活用することで、多様化する市民からの学習ニーズに応じた講座の企画につなげることができました。</p>			

事業 の 成果	成果	<p>○生涯学習推進体制の整備充実 公民館を6ブロックに分け、吉田・三間・岩松の基幹公民館及び生涯学習係担当職員が公民館活動をサポートする体制を継続しました。</p> <p>○生涯学習関連施設の整備充実 必要箇所の施設修繕を適宜行うとともに、公民館トイレ洋式化計画（R3～5）を策定し、宇和津公民館及び公民館トイレの改修を行いました。</p> <p>○生涯学習社会を支える人づくりの推進 生涯学習推進講師登録制度に随時登録を行いました。</p> <p>○青少年市民協働センター（ホリバタ）事業 年間5,764人の利用（個人利用と団体利用：5,130人、イベント利用：634人）がありました。これは、愛媛大学や市民活動団体と連携した事業を強化し、企画への参加者が増えたことに加えて、利用者のニーズに応えながら場づくりを行い、利用者が（新規継続とも）増えたためです。また、キャリアデザインのトークセッションに参加して、その進路に進むことを決めた高校生や、大学合格の報告に来る高校生や帰省の度に寄ってくれる大学生などが出てきています。</p> <p>○特色のある図書館活動 読書マラソンでは夏季（学生）60人、秋季（一般）65人の完走者がありました。 また、貸出予約のうちインターネットからの予約が7,898件あり、コロナ禍での図書館利用の確保に寄与しました。。</p>
	自己 評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>生涯学習センターについては今後も市民の学習交流拠点として、さまざまな生涯学習に関する情報の発信に努めて参ります。</p> <p>生涯学習関連施設については、全体的に老朽化が進んでいるため、優先順位を検討しつつ今後も改築、耐震化及び修繕について進めていく必要があります。</p> <p>青少年市民協働センター（ホリバタ）事業においては、利用者の約70%がリピーターで、新規の利用者が少ない、イベントの周知がまだまだ十分にできていないという課題があり、利用者の裾野を広げ、ホリバタ世代へ確実にアプローチをする必要があります。</p> <p>図書館では、新型コロナの影響により、住民ボランティアの協力による読み聞かせ会等が開催できないことが多くありました。コロナ禍でもできるイベントのあり方を模索する必要があります。</p>

<p>学識経験者意見</p>	<p>生涯学習センターにおいては、生涯学習の情報や学習機会の提供に努め、これまで市民のニーズや社会の変化に対応した、学習機会やまちづくり活動に繋がる学習機会等を提供し、学びの質の向上を図ってきましたが、コロナ禍にて生涯学習の縮小を余儀なくされています。今後は、これまでの取り組みをもとに魅力ある学習機会の提供に一層取り組んでいただければと思います。また、生涯学習を推進する上で、学びを活かした地域づくりの促進を掲げて、学習の成果が、個人の自己表現や地域社会の発展等に活かせるような仕組みづくりを推進していく必要もあるのではないのでしょうか。</p> <p>公民館の改築設計と修繕においては、公民館は、地域住民の方々のもっとも身近な学習拠点であり、交流の場として利用されています。災害時における防災拠点としての役割も期待されており、施設利用者の安心、安全の確保に努めていただき、地域の方々の声も取り入れた計画的な整備を望みます。</p> <p>中央公民館では、青少年市民協働センター事業（通称：ホリパタ事業）にて、若い世代を中心とした「人づくり・地域づくり」を目的とした様々な事業に取り組んでいます。各団体等と連携し、利用者のニーズに沿った事業を実施しておりますが、利用者の約70%がリピーターということで、新規利用者が気軽に施設を利用できる環境を整えてあげる必要もあるのではないのでしょうか。中央公民館と地区公民館が連携した、効率かつ効果的な情報発信を充実させることで、施設の役割や情報を利用者に周知できるのではないのでしょうか。幅広い年齢層に向けた情報発信をしてください。若者が自分の町に魅力を感じ、好きと思えるような、宇和島の未来を担う「人財育成」に取り組んでください。期待しています。</p> <p>図書館においては、現代美術家「大竹文庫」も1周年に向けて、市民の皆さんに文化芸術を身近に楽しむことが出来るのではないのでしょうか。展示場所については分かりやすく表示しています。市民との協働による読み聞かせ会は、最近一部で希薄化しつつある母子関係の改善に効果的であると考えられています。読み聞かせの指導者やボランティアの育成と並行して、各種イベント、講座の開催等、魅力的な図書館運営を目指し、読書に親しめる環境整備に努めてください。</p>
<p>今後に向けた取組方針</p>	<p>生涯学習センターにおきましては、引き続きさまざまな生涯学習に関する情報の発信に努めるとともに、学習成果の活用支援にも努めて参ります。</p> <p>生涯学習関連施設につきましては、利用者の利便性の向上を図るため、適宜、改修、更新を行って参ります。</p> <p>中央公民館につきましては、学校・企業・団体との連携、市の各種広報ツールの活用による効率かつ効果的な情報発信を充実させるように努めたいと思います。</p> <p>図書館につきましては、「大竹文庫」も含めた地域の資料など魅力ある展示のほか、市内外から訪れる来館者のための図書館全体の魅力向上に向けた取組を進めてまいります。</p>

項目	2 社会教育			
重点施策	(4) 人権・同和教育の推進			
個別事業・施策名	地区公民館運営事業	予算 執行 状況	予算額	0千円
			決算額	0千円
			不用額	0千円
			繰越額	0千円
事業区分	市単独事業			
施策概要	地区公民館において、地域住民や社会教育団体などに対し、人権問題の解決に向けた学習機会を提供しています。			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	○人権問題の解決に向けた学習内容の創造及び学習機会の拡充 ○公民館、地域、社会教育団体等における人権・同和教育推進体制の確立 ○公民館における人権問題を機能的に位置づけた学級、講座や諸集会の充実			
	(2) 施策・事業の実施状況			
地区公民館における人権・同和教育講座として、以前から継続して実施している同和問題について学習を実施しました。 実施にあたっては、地域の学校、社会福祉協議会、人権擁護委員協議会等の各種団体との共同や地域との連携を図りながら、児童、保護及び地域住民が一体となって学習しています。				

事業の成果	成果	<p>公民館における人権・同和教育取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級講座：4講座 111人 ・事業：3事業 87人
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>人権・同和教育講座を公民館における必須講座に位置づけ、市民一人一人が人権問題に関心を持ち、自らの課題として主体的に取り組み、人権尊重の精神を日常生活に生かし、人権課題を自分事として捉えることができる視点を持てるよう、今後も研修内容の充実を図って参ります。</p>
学識経験者意見		<p>地区公民館は、地域における人権教育の拠点として、地域の実情に応じた人権に関する多様な学習機会の充実が求められています。人権学習会では視聴覚教材（DVD等）や人権講師による講座を実施していますが、学習参加者の意欲が減退しているなどの課題も生じてきているのではないのでしょうか。今後も、公民館がそれぞれ人権教育を推進して、人権啓発に努めてください。</p>
今後に向けた取組方針		<p>「互いの人権を尊重し行動するための人権・同和教育の推進」を各公民館の重点課題に掲げ、引き続き人権教育を推進して参ります。</p>

項目	3 文化			
重点施策	(1) 文化財の保存整備・活用			
個別事業・施策名	城山管理事業、史跡宇和島城保存整備事業、岩松地区町並み保存事業、文化財保護事業、市内遺跡発掘調査事業、民俗文化財調査事業、文化財災害復旧事業、郷土愛育成事業	予算 執行 状況	予算額	65,407千円
			決算額	57,341千円
事業区分	市単独事業 県費補助事業 国庫補助事業		不用額	8,066千円
			繰越額	0千円
施策概要	<p>重要文化財の宇和島城天守をはじめ、市内には多数の指定文化財があります。これらの文化財を適切に保存し、次世代へ確実に継承できるよう、必要に応じて文化庁や有識者等と協議しながら、学芸員を中心に各種施策を推進しています。</p> <p>近年注力している施策として、「史跡宇和島城内の環境整備」や「各種文化財に係る説明看板の更新や新設」、「市HPなどを介した情報発信の強化」に取り組んでいます。このような取り組みを通じて、文化財が持つ本質的な価値を伝えるとともに、文化財保護意識の向上、市民の郷土に対する誇りや愛着が深まることも目指しています。</p> <p>地元関係者と協力しながら「吉田秋祭の神幸行事（無形民俗文化財）の国指定」や「岩松地区の町並み（伝統的建造物群保存地区）の国選定」に向けた各種準備を進めています。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○宇和島城保存整備の推進 ○町並み保存の推進（岩松地区） ○吉田秋祭の神幸行事の国無形民俗文化財指定に向けた準備 ○埋蔵文化財の調査・発掘及び啓発 ○文化財の調査・保存・周知・活用、資料の収集と保護意識の啓発 ○無形民俗文化財や行祭事の保存と継承 			
	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>国指定の「史跡宇和島城」及び重要文化財指定の「宇和島城天守」の保護や活用を図るために、登城道沿いを中心に傾斜木や枯損木などの支障木を伐採又は剪定し、登城者の安全確保に努めました。</p> <p>平成26年度から着手していた本丸跡の災害復旧工事が完了し、事故防止のため立入禁止区域に設定していた本丸や代右衛門丸を一般解放することが出来ました。</p> <p>新型コロナウイルスの感染対策を講じた上で、子ども向けのイベント「城山探検」を開催し、約100名の参加者に宇和島城の魅力を伝えることが出来ました。</p> <p>吉田秋祭の神幸行事は、地元関係者を主体に組織された保存団体が製作した映像記録の提供を受けて、そのダイジェスト版を市HPへ掲載しました。さらに、国安の郷のお祭り館の展示をリニューアルし、文化財的価値の周知啓発に努めました。</p> <p>市内遺跡発掘調査等事業で取り組んでいる遍路道調査では、明石寺道の測量調査を実施し、国史跡の追加指定にかかる作業を進めました。</p> <p>国選定を目指す岩松地区の町並みについては、保存活用計画策定のための工作物調査や、修理修景基準の検討等を進めることができました。</p> <p>文化財所有者や維持管理団体からの修繕や保存方法などの各種相談に対し、学芸員が各種法令等に基づいた適切な助言や回答、必要に応じて利用可能な補助制度を紹介するなど、これまで同様に文化財の保存継承に努めました。</p>			

事業の成果	成果	<p>文化財の本質的な価値を伝えるために、近年取り組んできた「史跡宇和島城内の環境整備」や「市HPなどを介した情報発信の強化」に加え、歴史資料館や国安の郷での常設展示のリニューアルに学芸員が携わりました。</p> <p>その結果、デジタルと実物の両面から、市民に対しては一層の文化財保護意識の向上を、市外の方に対しては観光意欲を高め、宇和島の歴史・文化への理解・関心を深める効果があったと考えています。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染対策を講じた上で、小学生向けに対面式の小規模イベントや講座を実施し、郷土に対する誇りや愛着の醸成をはかることができました。</p> <p>「吉田秋祭の神幸行事（無形民俗文化財）の国指定」や「岩松地区の町並み（伝統的建造物群保存地区）の国選定」に向けて、地元関係者を交え各種準備を進めているため、地域の魅力を見直す機会であるとともに、文化財の継承にも一定の効果があったと考えています。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>学芸員の増員もあり、文化施設での文化財関係の展示にも力を入れるなど様々な取り組みを展開していますが、新型コロナの影響を受けて、観光客が伸び悩んでいることや、対面式の講座やイベントの中止、規模縮小が続いたため、実施成果を客観的に判断できる“観光客数”や“講座参加者数”など具体的な指標が低迷しており、成果を実感する機会はあまりありません。</p> <p>しかしながら、今後も他市町や他団体が取り組んでいる事例の調査研究に努め、効果が高いと判断したものは積極的に取り入れるとともに、適切な文化財保護に努めたいと考えています。</p>
学識経験者意見	<p>市内外には、宇和島城を始め、非常に多種多様な文化財があり、1つ1つの背景には文化財の魅力があり、感動を覚える市民も多いのではないのでしょうか。こうしたことから、文化財は「市民の宝」であり、「市民の誇り」に繋がるものだと思います。地域に伝わる各種文化財（有形・無形）や、無形民俗文化財の中には、その継承が困難なものもあり、各関係機関等が連携を取り、継承が途切れないような文化財の保存整備に努めてください。学芸員の増員により、文化施設での展示等において様々な取り組みを展開することで、市民の方々や観光の皆さんが足を運ぶのではないのでしょうか。また、史跡宇和島城内の環境整備については、「宇和島通信」を発行して市民の皆さんに整備状況を広報してください。「お城山」の魅力をも市民の皆さんに知っていただける講座やイベントもお願いします。また、観光客の目線に立って地域独自の歴史、文化について、言葉で伝えることも必要であり、歴史を訪ねる散策コース等の整備にて、魅力を地域住民や環境客にアピールしてください。また、各種文化財に係る案内看板及び説明看板の点検をしていただき、更新や新設の検討をお願いします。</p>	
今後に向けた取組方針	<p>各種文化財の継承・保存については、事業実施についての相談や市HPを用いた周知を行い、さらに、活動費や修理費用について市補助金の交付や、民間団体による補助事業の紹介を行い、保存伝承に努めます。</p> <p>文化施設等での歴史・文化財を紹介する展示の充実をはかりつつ、観光物産協会と連携して観光客への歴史文化の周知に努めます。</p> <p>史跡宇和島城については、現在整備基本計画を策定中であり、策定後には計画に沿った整備の進行状況等を「宇和島城通信」、HPや城内のサイン等を通じて広報します。</p> <p>各種文化財の看板については、適宜更新・新設を進めます。</p>	

項目	3 文化			
重点施策	(1) - 2 文化財の保存整備・活用 【伊達博物館所管分】			
個別事業・施策名	博物館管理事業、特別展事業、博物館改築事業	予算 執行 状況	予算額	46,376千円
			決算額	45,179千円
			不用額	1,197千円
			繰越額	0千円
事業区分	市単独事業			
施策概要	<p>伊達博物館等の文化施設については、文化・芸術に触れることのできるイベントや講座を実施するなど、市民が身近に感じ気軽に触れられるよう、啓発活動を行っています。</p> <p>また、老朽化が進む伊達博物館については令和8年度の開館を目指して、新しい博物館の整備計画を進めています。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の調査・保存・周知・活用、資料の収集と保護意識の啓発 ○博物館等の機能・情報提供基盤の整備充実と利用者の拡大 ○博物館・美術館等と学校教育の連携 			
	(2) 施策・事業の実施状況			
<p>伊達博物館では、小中高等学校への「出前・出迎授業」を実施し、未来を担う子どもたちへの宇和島の文化財に対する教育普及活動を行っています。</p> <p>展示については、来館者の目線での内容を工夫し、より分かりやすい解説に心がけています。また、伊達博物館改築事業については、広く市民の意見を反映させた検討を行うため伊達博物館建替委員会を設置した上で基本計画を策定し、設計業務に着手しました。</p>				

事業の成果	成果	<p>令和3年度伊達博物館入館者数 6,162人 コレクション①として『武家の手習ひ－宇和島伊達家の武・遊・美－』、 コレクション展②として『文様－家紋と日本の伝統意匠』を実施しました。 また秋期特別展は『武具の煌めき－武家のPRIDE－』と題し、武具甲冑を中心とした展示を行った。 同時に恒例となっているゴールデンウィーク特別展、山家清兵衛展、ひな人形展等、合計で7回の展示を開催しました。</p> <p>小中高等学校への「出前・出迎授業」については、出前授業1件（132人）、出迎授業25件（合計510人）を開催しました。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>伊達博物館の入館者については新型コロナウイルスの影響により大幅減の状況が続いています。その状況下において、博物館が担うべき役割をいかに効果的に果たしていくか、さらなる工夫を検討する必要があると感じました。</p> <p>博物館改築事業については、できる限りの説明に努めましたが、様々な意見や考え方をいただきました。より良い博物館建設のため今後とも説明責任を果たし、着実に進捗させていきたいと思ひます。</p>
学識経験者意見		<p>伊達博物館は、コロナ禍で入館者が減少していますが、特別展など開催して魅力ある企画に取り組み、来館者に好評を得ているのではないのでしょうか。築40年以上経過していますが、今後も創意工夫し、魅力ある展示会を開催するとともに、市内小中学校・高校へもPRし、課外事業の受け入れなど、来館者の増加に努めていただきたいと思ひます。</p> <p>伊達博物館改築事業につきましては、改築を計画している伊達博物館の建設及び整備に向けた、新伊達博物館建築設計業務を委託するにあたり、公募型プロポーザルの実施をしています。新伊達博物館基本設計に係る、様々なご意見やご質問がありますが、丁寧な説明をし、今後の取り組みに活かしてください。</p>
今後に向けた取組方針		<p>新伊達博物館入館者については減少傾向にあるものの、集客が見込まれる魅力的な展示を心がけて参ります。その上で、各学校への出前授業等の強化に努め、地域の歴史文化発信の中核となるべき役割を担っていきたくて考えております。</p> <p>また、改築事業については、今後とも丁寧な説明に努め、事業を着実に進捗させてまいります。</p>

項目	3 文化			
重点施策	(2) 文化芸術の振興			
個別事業・施策名	文化振興事業、榊崎歴史資料館管理事業、国安の郷管理事業、畦地梅太郎記念美術館・井関邦三郎記念館運営事業	予算 執行 状況	予算額	34,774千円
			決算額	29,590千円
			不用額	5,184千円
			繰越額	0千円
事業区分	市単独事業			
施策概要	<p>市民に優れた文化芸術に触れる機会を提供し、自発的な文化芸術活動への動機付けとなるよう、様々な文化芸術イベント（演奏会や展覧会等）を実施しています。</p> <p>文化芸術を身近に感じることができる施設として、畦地梅太郎記念美術館・井関邦三郎記念館や国安の郷、榊崎歴史資料館では、魅力ある展示内容（常設展）に加え、企画展や体験教室などを開催し、施設利用者増に努めています。</p> <p>文化協会を中心とした様々な団体や個人と連携し、市民文化祭や南予美術展などを開催することで、市内における文化芸術活動を発表する機会の確保に努めています。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○質の高い文化芸術鑑賞機会の拡充 ○伝統文化の継承と活性化 ○文化創造活動の活性化促進と成果発表機会の充実 ○市民の自主的な文化芸術活動や地域間交流活動の支援促進 ○文化振興団体・サークルの連携と人材の育成 ○文化拠点施設の整備・活用 ○美術館、文化振興施設と学校教育の連携 			
	(2) 施策・事業の実施状況			
<p>新型コロナの影響があり、文化祭への参加団体は例年を下回りましたが、感染対策を講じるなどした結果、昨年度からは持ち直しました。</p> <p>また、当課の事業については、一部実施方法を変更するなどしましたが、概ね実施でき、新型コロナの中でも文化芸術鑑賞の機会を提供できました。</p> <p>参考)</p> <p>①文化祭参加団体数 39団体（令和2年度）→ 72団体（令和3年度） ⇒前年度比較 33団体増</p> <p>②令和3年度の開催を見合わせた主なイベント 桐朋学園コンサート</p> <p>③令和3年度に実施方法を変更したイベント フォトイベント（歴史資料館） （マルシェを中止し、実施時期を5月から10月へ変更） 英語プレゼンコンテスト 会場発表からオンライン開催へ変更</p> <p>④通常開催 浜田泰介展、舞台「玄朴と長英」、よんでんアンサンブルクリスマスコンサート、市民文化祭、南予美術展</p>				

事業の成果	成果	<p>新型コロナの影響を受けて、一部イベントが延期となったり、実施方法を変更するなどしましたが、例年開催している事業については概ね実施できました。</p> <p>また、浜田泰介展やよんでんアンサンブルクリスマスコンサートなどの事業についても感染対策を講じながら実施することができ、質の高い芸術鑑賞の機会を市民に提供することができました。</p> <p>各文化施設では、企画展示などを行い集客に努めたほか、子ども向けに体験教室を開催するなどし、新規の施設利用者の増加につながりました。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>文化協会をはじめ各種団体では、会員の高齢化や会員数の減少等の影響で、多くの団体で文化芸術活動が縮小傾向にあり、これまで続けてきた文化芸術活動を持続するためにも、将来の担い手である若い世代への継承が課題になっています。</p> <p>今後も、市内の活動団体と連携し、活動成果を発表する場を提供するとともに、効果的な施策の展開に努めなければならないと考えています。</p> <p>また、各施設ではイベントや企画展示等の際に来られた新規利用者を、リピーターにつなげることができるよう工夫していきたいと考えています。</p>
学識経験者意見		<p>地域における芸術文化の振興を図るため、コロナ禍でもホールや美術館、記念館、資料館等において、講演や展覧会等を縮小しながらも開催したことは、文化芸術を楽しむ環境を地域に広めたのではないのでしょうか。これからも、活動団体等と連携し市民の方々に多彩な文化芸術の鑑賞や伝統文化、文化財を親しむ機会を充実してください。将来の文化財保護を担う人材の育成は、広く地域の歴史や文化を知っていただくため、歴史講座等の普及啓発活動を関係機関と連携し、併せて学校現場とも連携し、出前授業や歴史資料館の体験活動等を通じて文化財の魅力発信を推進してください。また、施設案内看板の点検をしていただき、更新や新設の検討をお願いします。</p>
今後に向けた取組方針		<p>施設の案内看板については、適宜内容の確認や設置場所の判断をしながら、必要なものについては更新や新設等を実施するよう努めます。</p> <p>講演会や展覧会等はこれまで同様実施し、市民の皆様に向け芸術に触れる機会を提供して参ります。</p> <p>また、市内の文化団体等と協力しながら子ども向けの体験講座を行うなど、地域と文化団体双方との橋渡しができるよう機会の提供に努めます。</p>

項目	4 人権・同和教育			
重点施策	(1) 差別解消への明るい展望をもった人権・同和教育の推進			
個別事業・施策名	人権教育・啓発事業、教育集会所運営事業、隣保館運営事業	予算 執行 状況	予算額	47,177千円
			決算額	41,230千円
事業区分	市単独事業 国県費補助事業		不用額	5,947千円
			繰越額	0千円
施策概要	<p>同和教育で培ってきた成果や視点を継承するとともに、人権教育全体の幅広い取組に学びながら、市民の人権意識を高めることによって、様々な人権問題の解決につなげていくための人権・同和教育を推進しました。</p> <p>具体的には、参加者自身が主体的に人権問題や差別をなくする取組に関わっていかうとする意識や態度を高めるための各種研修会や学習会等を開催しました。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<p>○差別解消への行動に結びつく教育内容の創造と実践</p> <p>○就学前教育・学校教育・社会教育における一貫した人権・同和教育の推進</p> <p>○子ども会活動の充実</p>			
実施状況	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>校区別人権・同和教育懇談会を市内小学校、中学校(27校)で実施しました。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、保護者や校区住民などへの公開は困難な学校もありましたが、同和問題をはじめとする様々な人権問題について、人権集会、学習成果の発表、学級・学年別懇談会等の実施で理解を深めることができました。</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い、講座等多くの実施が困難でありましたが、出来る範囲で手法を変更し実施しました。ネットを活用した3校同時のオンライン授業を実施しました。</p> <p>また、ハンセン病療養施設へ教職員、生徒(中学・高校)、行政、団体等が合同で視察研修に行きました。振り返り学習として参加した高校生から学校全体、中学校、小学校、行政にリモート報告会を実施しました。</p> <p>小学校と隣保館、行政、社会教育が連携し、地域を誇りに思える児童生徒を育成するため、人権に関わる地域資源の調査・研究を実施しました。</p> <p>市内に10会ある子ども会活動の充実を図りました。同和地区をはじめ様々な困難を抱える子どもたちが、自分の置かれている立場をしっかりと認識し、将来に向けて明るい展望を築くために、基礎学習や仲間づくりを行いました。</p>			

事業の成果	成果	<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業展開に制約がありながらも小中学校27校で校区別懇談会を実施し、保護者や生徒児童に人権意識の向上や啓発を図ることができました。</p> <p>人権教育研究推進地域事業（文部科学省委託（R2～R4年度の3年間）：三間地域指定）では就学前教育・学校教育・社会教育が連携し、ハンセン病療養施設（岡山県）へ合同視察研修を実施し、共有化を図ることができました。</p> <p>子ども会は実施する回数も限られた面は否めませんが、仲間づくりや人権学習等による人権感覚の高揚を図ることができました。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>コロナ禍という状況の中、学校の臨時休校やカリキュラムの見直し等計画的に取り組むことができず、事業展開が困難でありました。そのような中でも対面での取組以外では、オンラインや紙媒体等で手法を変えながら実施することができました。</p> <p>人権分野では対面での取組が重要であると思いますが、コロナ禍で人と人とのつながりをいかに築いていくかが課題となっております。</p>
学識経験者意見		<p>小中学全校において、人権・同和教育懇談会を実施し、コロナ禍の中参加した皆さんが人権教育、人権啓発活動に理解を深め、より一層人権意識を高めたのではないのでしょうか。また、人権教育研究推進地域事業（三間地区指定）では、ハンセン療養施設（岡山県）へ教職員、生徒、行政、団体等が合同で視察研修を行っており、参加した学生により各学校、行政にリモート報告会を実施して、人権教育の一層の推進を図られたのではないのでしょうか。</p>
今後に向けた取組方針		<p>宇和島の将来を担う子どもたちに、お互いを認め合い尊重し合える人間育成に地域全体が関わることができるよう取り組んでいきたいと存じます。</p>

項目	4 人権・同和教育			
重点施策	(2) 人権・同和教育推進体制の確立			
個別事業・施策名	人権教育・啓発事業、教育集会所運営事業、隣保館運営事業	予算 執行 状況	予算額	47,177千円
			決算額	41,230千円
			不用額	5,947千円
			繰越額	0千円
事業区分	市単独事業 国県費補助事業			
施策概要	<p>研修等の内容を工夫・吟味しながら、人材の発掘や指導者の養成に努め、連携を密にした人権・同和教育を推進していくため、宇和島市人権教育協議会の活動及び公民館、各種団体等の推進体制の充実を図りました。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○人権・同和教育指導者の養成 ○人権教育関係団体等の育成・支援 ○各種研究大会への派遣 ○市職員の共通認識の確立と研修内容の充実 			
	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>「ネット人権侵害と部落差別の現実について」を全教職員対象にリモートで研修し、年齢に応じた指導方法など教職員間の共通認識を深めました。また、校長会でも研修会を実施しました。</p> <p>三間全域の自治会に例年実施していた「であい・ふれあい・みんなの人権講座」の指導者となる人権教育推進委員に同和問題基礎講座を開催し委員の人権意識の向上を図りました。</p> <p>愛媛県人権教育協議会と連携のもと同和教育を基軸とした人権教育の研究と実践に努めるため、県内報告会や各種研究大会に参加するだけでなく、愛媛県人権・同和研究大会などの報告内容を行政・団体等と吟味し、協力体制の推進を充実しました。</p> <p>市人権・同和教育研究大会では「差別のカラクリ」と題する講演を録画で配信し実施しました。</p> <p>市職員養成講座では、豊かな人権感覚を持ち、市民のリーダーに養成するため、行政職員（各担当課から推進委員を選定）の人権意識の高揚につながる様々な人権課題（人権一般・障がい者問題）の研修を実施しました。（6回の計画中、2回が中止、2回が書面開催、2回を対面講座）</p>			

事業の成果	成果	<p>教職員人権・同和教育研修会では、ネットの差別の現状を学ぶことで、教職員間の情報共有を図ることができ、今後の指導計画に活用できる内容でありました。</p> <p>市職員養成講座は限られた開催となりましたが、「人権一般」、「障がいのある人」の人権について学び、人権意識の向上に努めることができました。</p> <p>各種研究大会は全国、四国大会が中止となりましたが、県内報告会に代えて実施され、教職員や行政、団体等の連携と協力体制を構築できました。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>人権尊重の宇和島市を目指すためには、就学前・学校教育等の教育課程から正しい知識を習得し、差別をなくすための実践力を身につけることが重要です。そのための指導者の養成が不可欠であります。コロナ禍で事業展開が難しい中、効率的に効果的に展開できる手法等を模索したいと思います。</p> <p>また、今後も宇和島市人権教育協議会の構成団体等と持続的に連携を図り、人権教育・啓発活動の裾野を広げ、反差別のネットワークづくりを推進していくことが不可欠であります。</p>
学識経験者意見		<p>全教職員対象の研修は、今回リモートで研修をされ、「ネットの差別現状」を学び、教職員間の共通認識を深められたのではないのでしょうか。今後も教職員の人権意識の向上と人権問題の正しい認識と理解を深められるよう、教育活動や研修の充実を図ってください。また、新たな人権問題に対する正しい認識と理解を深めるため、市職員への研修等の充実も図ってください。</p>
今後に向けた取組方針		<p>市条例を令和3年に一部改正し、人権教育の充実を新たに加え、より効果的な取り組みの実施が求められています。特に市民の人権・同和教育の指導者として教職員・市職員の資質の向上に努めていきたいと存じます。</p>

項目	4 人権・同和教育			
重点施策	(3) 人権が尊重されるまちづくりの推進			
個別事業・施策名	人権教育・啓発事業、教育集会所運営事業、隣保館運営事業	予算 執行 状況	予算額	47,177千円
			決算額	41,230千円
事業区分	市単独事業 国県費補助事業		不用額	5,947千円
			繰越額	0千円
施策概要	<p>より多くの市民（家庭・保護者等）・企業等が、主体的に同和問題をはじめとしたさまざまな人権問題に関わろうとする意識を高めるための工夫を凝らし、講演会、研修会等を実施しました。</p> <p>また、部落解放を中心課題に据え、教育や文化、教養の向上及び地域課題の解決を図るとともに連帯意識を高めました。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○市民に対する啓発活動の充実 ○様々な人権課題に対する学習機会の提供 ○同和地区内の学習活動の促進 			
	(2) 施策・事業の実施状況			
<p>市民全体へ市政広報番組やビデオメッセージ（三間中・吉田中）を制作しUCATで放映しました。また、紙媒体では広報での特集や人権たよりを全戸配布しました。</p> <p>コロナ禍で創意工夫しながら「人権を考える市民の集い」（宇和島）、「笑顔の集い in つしま」（津島）は対面講演で、「吉田町人権をまもる集い」（吉田）は、人数制限での講演とYouTube配信を、「三間町あったかコンサート」（三間）は事前録画をその後UCAT放映で実施しました。</p> <p>企業活動が社会や環境に及ぼす影響は大きいため、企業内研修を行うことで、人権意識の向上を図りました。</p> <p>啓発物品として人権パンフレットやシトラスリボン、条例改正と障がいのある人への差別解消を目的とした法律に関するクリアファイルを作成し配布しました。</p>				

事業の成果	成果	<p>コロナ禍での誹謗中傷や差別記事等報道で流れる中、市政広報番組や広報での特集により、人権に対する意識の向上を図るための啓発ができました。</p> <p>人権啓発ビデオメッセージ（三間中・吉田中）ではUCATでの放映、チラシの配布で多くの市民へ啓発ができ、放映をDVDに複製することで教材として活用できました。</p> <p>各地区集いでは、例年と異なり四苦八苦はしながらも情報技術を駆使しながら手法を変えた取組ができました。</p> <p>県内発のシトラスリボンプロジェクトに賛同し、市立病院のライトアップやシトラスリボン講座を開催し、あらゆる方へのリスペクトを忘れないための啓発をしました。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>コロナ等感染症は見えないものであるため、人々の不安やストレスを煽り、誹謗中傷や差別を生み出します。本来闘うべきものは「ウイルス」であるということを広く市民に理解してもらうことが重要です。啓発に重きをおき、より多くの市民に啓発をできた反面、正しく理解してもらうためには継続することが必要であると思います。</p> <p>アンケート調査では実施方法（対面・オンライン等）に対しての意見が様々であったため、今後に反映し、差別解消に向け取り組んでいきたいと思ます。</p>
学識経験者意見		<p>コロナ禍にて制限がある中、人権啓発においては、市政広報番組や広報での啓発、また、ビデオメッセージ（三間中・吉田中）では、UCAT番組にて放映され、市民への啓発活動に努めています。今後も差別のない社会を実現するために、複雑、多様化する人権問題に関して、市民や企業等に対する講演会や研修会などの学習機会の提供とともに、啓発、周知の取り組みを進めてください。</p>
今後に向けた取組方針		<p>あらゆる差別の解消に向けて一歩一歩ではありますが、市民の人権意識の向上に向けて創意工夫しながら各種事業展開を図っていきたいと思ます。</p>

項目	5 社会体育			
重点施策	(1) スポーツ施設の整備と利用促進			
個別事業・施策名	体育施設管理事業、丸山公園管理事業、総合体育館管理事業、吉田町ふれあい運動公園管理事業、スポーツ交流センター管理事業、公共施設災害復旧事業（7月豪雨災害分）	予算 執行 状況	予算額	413,830千円
			決算額	349,182千円
			不用額	22,848千円
			繰越額	41,800千円
事業区分	市単独事業			
施策概要	当市のスポーツ施設は老朽化が進んでおりますが、利用者が安全・快適にスポーツが行えるよう、施設の状況や利用者のニーズ及び利便性を考慮して修繕等の対応を実施しました。			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○各種スポーツ施設の整備充実 ○各種スポーツ施設の管理運営体制の充実 ○指定管理者制度の推進 			
	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>【主要スポーツ施設等】</p> <p>総合体育館については、大競技場床の改修工事に着手し、丸山公園スポーツ施設については、ルール改正も踏まえた陸上競技場走路等の改修が完了するなど、より良い設備状態で各種大会等を行えるよう整備を実施し、その他のスポーツ施設についても、営繕必要箇所の現地調査を行い、緊急性等を考慮しながら順次補修・工事を実施しました。</p> <p>【指定管理者委託施設】</p> <p>スポーツ交流センターでは、観客席（座席36席、立見18席）設置工事が完了したことにより、クライミング大会時の観客席として全国から大会等を誘致できる施設として整備することができました。</p> <p>吉田町ふれあい運動公園では、大規模な屋根、外壁改修工事を行い、老朽化した施設の改修を行いました。</p>			

事業の成果	成果	<p>総合体育館については、大競技場床の改修工事に着手し、直近の大規模な大会として目前に控えた全国高等学校総合体育大会（インターハイ）卓球競技大会の成功に向け整備していきます。</p> <p>スポーツ交流センターでは、12月にクライミング観客席設置工事が完了したことにより、観客席を活用したイベントの実施や誘致ができる施設として整備することができ、早速、1月にはクライミングユース日本代表合宿が行われました。また、3月には市の「未来のトップアスリート育成事業」を活用した東京オリンピック銅メダリストの野口啓代氏を講師に招きクライミング教室が開催されました。どちらも全国・世界で活躍するトップアスリートの方々から非常に良い施設であるとお褒めの言葉をいただきましたので今後も魅力ある施設の維持発展に努めていきたいと思っております。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>全体を通じて、老朽化が著しい施設が多く、各施設の備品整備、施設維持補修については十分な対応とは言い難い状況にあり、引き続き効率的・効果的な整備の必要があります。</p> <p>すべての施設を高性能に維持することは不可能であるため、有利な起債の利用を含めた整備を計画立てて実施する必要があります。</p>
学識経験者意見		<p>宇和島市では、総合体育館や運動公園など、多くのスポーツ施設が設置され、身近なスポーツの場として市民の皆さんが利用されています。施設の改修工事については、高校総体（インターハイ）に向けて、総合体育館大競技場床の改修工事の整備に着手し、また、ルール改正を踏まえた丸山公園陸上競技場の走路等の改修が完了して、今後における各種大会に支障のないよう整備ができたのではないのでしょうか。その他のスポーツ施設においても、緊急性等を考慮しながら、施設の耐用年数等を視野に入れた計画的な修繕、改修を進めていただきたいと思います。スポーツ交流センターでは、特に子どもたちにはボルダリング壁が人気で、要望していた観客席が整備されたことで、早速クライミングユース日本代表合宿や、トップアスリートを招いてクライミング教室が開催されています。これからは、イベントの実施や誘致ができる施設として、県内外から好評を得るのではないのでしょうか。なお、施設の利用促進とそれに伴う適切な管理、運営体制の整備に努めてください。</p>
今後に向けた取組方針		<p>スポーツ施設の改修等については今後も利用頻度や費用対効果を意識しながら優先順位を踏まえ修繕や工事を実施します。</p> <p>クライミングホールについては近隣に類を見ない施設であることから指定管理者と連携しながら市のPRにも活用してまいります。</p>

項目	5 社会体育			
重点施策	(2) スポーツ団体の育成			
個別事業・施策名	スポーツ振興事業	予算 執行 状況	予算額	6,174千円
			決算額	6,174千円
			不用額	0千円
事業区分	市単独事業		繰越額	0千円
施策概要	<p>スポーツ振興の中核を担うスポーツ協会やスポーツ少年団などのスポーツ団体の育成に努めました。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<p>○スポーツ協会やスポーツ少年団などのスポーツ団体育成 ○総合型スポーツクラブの普及支援</p>			
	(2) 施策・事業の実施状況			
<p>宇和島市スポーツ協会のスポーツ振興に関する施策運営を奨励するため、必要な助言、援助を行いました。しかし、新型コロナウイルスの影響でスポーツ協会の活動も制限され補助金の全額執行もかないませんでした。 少年の健全育成及びスポーツのもつ教育的役割を果たす宇和島市スポーツ少年団本部組織の事務を遂行し、情報提供や補助金等の援助を行いました。 また、総合型地域スポーツクラブは現在1クラブ組織されており、主体性をもった自立組織となっています。現状、新たな総合型スポーツクラブの設立等の動きはありませんでした。</p>				

事業の成果	成果	人口減少の中、スポーツ活動の主体となる宇和島市スポーツ協会や宇和島市スポーツ少年団への支援を行うことにより、市民の生涯スポーツの普及について寄与することができました。
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>少子化が進む中、スポーツ少年団等の団体を維持していくことが難しくなってきました。そのような中でも育成に必要不可欠な指導者の確保と指導力の向上を図り、市民の生涯スポーツを普及しているスポーツ協会と連携し維持発展に努めて行く必要があると考えております。</p>
学識経験者意見		<p>スポーツ少年団は、少子化により団員が減り、校区においては他の校区と合同チームを組み試合に参加していますが、指導者の負担は多くなるのではないのでしょうか。精神的、身体的に発達段階の子どもたちを支えるためには、適切な助言、指導が出来るメンバーが不可欠です。行政は、指導者と保護者の会が常にコミュニケーションを取り、良好な関係を築くよう指導し、研修会等を行うことで、指導者の質の向上と協力・連携の体制を深めていただければと思います。</p>
今後に向けた取組方針		<p>スポーツ少年団の指導者資格の制度改正が決定し、公認指導者資格を取得するハードル（費用、カリキュラムの難易度）や指導者に求められるものも高くなってきております。少子化により団員数も減少する中、今後、情報収集も含め更なる連携を図りながら取り組む必要があると考えます。</p>

項目	5 社会体育			
重点施策	(3) スポーツ活動をサポートする環境づくり			
個別事業・施策名	保健体育総務事業 スポーツ振興事業	予算 執行 状況	予算額	17,765千円
			決算額	13,761千円
事業区分	市単独事業		不用額	4,004千円
			繰越額	0千円
施策概要	<p>多様化するスポーツニーズに対応できるよう、スポーツ推進委員をはじめとする指導者の育成・確保、協力体制の整備に努めました。</p> <p>だれもが気軽に参加できるニュースポーツ、競技スポーツ、地域の特色を生かしたスポーツの振興に向け、スポーツ協会等と連携し、各種スポーツ大会、スポーツ教室等の充実を図り、市民の参加促進に努めました。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツ推進委員の資質の向上と活動助長 ○スポーツ指導者等の育成・確保、協力体制の整備 ○各種スポーツ大会、スポーツ教室・講習会等の充実 ○子どもたちの競技力向上に資する活動の推進 			
実施状況	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>市主催のスポーツ大会を通し、スポーツ推進委員をはじめとするスポーツ指導者の育成・確保、協力体制の整備に努めました。一方で、新型コロナウイルスの影響で、スポーツ推進委員の資質向上に繋げるための研修・研究会等は軒並み中止となりました。</p> <p>市主催の各種スポーツ大会等を通して、参加者の心身の発達や競技力の向上を図るとともに、スポーツ人口の拡大に努めました。大会の運営面においては感染対策にも配慮し内容改善に努める等、ニーズに応じています。</p> <p>一方で新型コロナウイルスの影響で全国から参加者を募る「全日本大学選抜相撲宇和島大会」・「うわうみだんだマラソン・ウォーク」等のイベントは中止をせざるを得なくなりました。</p>			

事業の成果	成果	<p>新型コロナウイルスの影響で、計画していた各種スポーツ大会やイベント等について中止や変更をせざるを得なくなったものが多くありました。</p> <p>そのような中でも、トップアスリートや有名指導者と市内の子どもたち・指導者がふれ合える機会の実現を支援する「未来のトップアスリート育成事業」は新型コロナウイルスの影響で一部計画変更がありました。市スポーツ協会、各競技団体を中心に質の高い事業を展開できました。</p> <p>また、令和2年度に創設した「市内高等学校へのスポーツ全国大会等出場奨励金」については、前年度よりも多くの申請があり、応援事業として有効的に活用いただいています。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>現在は、新型コロナウイルスの影響で以前のような活動ができないことが続いています。そのような中でも感染対策を徹底し実施できる範囲で活動を継続することができました。</p> <p>今後は、アフターコロナを見据えながらも、ウィズコロナを十分意識しスポーツ関係人口の維持発展に努めていく必要があると考えております。</p>
学識経験者意見		<p>コロナ禍の中、各種スポーツ大会やイベント等、スポーツ推進委員等の研修等においても、縮小を余儀なくされています。また、「全日本大学選抜相撲宇和島大会」や「うわうみだんだんマラソン・ウォーク」も中止となり、市内外の皆さんも寂しい思いをしたのではないのでしょうか。人々を地方に呼び込むために重要な役割を担っているイベントだけに、次回開催を期待しましょう。また、「未来のトップアスリート育成事業」では、トップアスリートを招き、子どもたち、指導者等との交流にて、事業の推進を図ることが出来たのではないのでしょうか。</p>
今後に向けた取組方針		<p>今後は、アフターコロナを見据えながらも、ウィズコロナを十分意識しスポーツ関係人口の維持発展に努めていく必要があると考えております。</p> <p>トップアスリートに指導をいただく参加者からは大変好評をいただいておりますので今後も継続して取り組んでいきたいと考えております。</p>

項目	6 学校給食			
重点施策	(1) 学校給食の充実			
個別事業・施策名	学校給食総務事業、給食費支援事業、中央学校給食センター管理事業、吉田地区学校給食センター管理事業、三間地区学校給食センター管理事業、宇和島地区自校給食管理事業、津島地区自校給食管理事業	予算 執行 状況	予算額	195,787千円
			決算額	191,041千円
事業区分	市単独事業		不用額	4,746千円
			繰越額	0千円
施策概要	<p>食育として学校給食を教育の一環と位置づけ、将来に渡って心身共に健康な生活が営めるように、好き嫌い無く栄養バランスが取れた正しい食習慣を身に付けさせるために献立編成を行うと共に、食に関する指導を実施しています。</p> <p>地域を愛する心を育めるように、地域食材を学校給食に取り入れ、地域特産物の情報及び地域食材を用いた献立情報の提供に努めています。特に令和3年度は、宇和島産養殖真鯛に養殖ぶりを加え「養殖魚消費推進事業」として地産地消事業を拡大し、地元養殖魚を積極的に学校給食へ取り入れました。</p> <p>コロナ禍による経済的影響を考慮し、子育て家庭への負担軽減を図るため、給食費の一部を補助しています。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○食育に沿った学校給食の推進 ○献立内容の多様化と充実 ○衛生・安全管理の徹底 ○地産地消の推進 ○保護者の経済的負担の軽減 ○幼稚園への学校給食実施 			
実施状況	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>各学校には給食献立に係る放送文書及び食材情報、特に食材アレルギーに関する資料や地元一般食材並びに養殖真鯛・養殖ぶりなどの地元養殖魚に係る供覧資料を送付しています。また、各献立のカロリー・使用する食材・食事を摂る際に注意して欲しいこと等を記載した献立表と共に、使用食材のアレルギーに関する資料について、学校を通じて該当家庭に配布するなど、学校給食を軸にした食育活動を実施しています。</p> <p>「水産の日・地産地消の日・食育の日」等の特別な日にあわせて、地産地消補助金を活用して宇和島産食材並びに養殖真鯛を取り入れた献立を提供するなど地産地消推進に取り組んでいます。また、宇和島産養殖ぶりを市場に出廻る10月から給食献立に取り入れると共に、従来からある宇和島産ぶりを使用した「ぶりの照り焼き」を毎年1月に特別献立として提供しています。</p> <p>栄養教諭の献立編成に対する考え方及び新しく提供しようとする献立の問題点を探る為、各学期ごとに献立内容について協議する場を設け、多様で栄養バランスが取れた給食の提供に努めています。</p> <p>大量調理施設衛生管理マニュアル・衛生管理基準に基づき、施設・設備の衛生保持に努めています。同時に毎日、調理場職員の健康管理をチェックし、毎月2回の検便検査、年1回のノロウイルス検便検査を実施しています。</p> <p>安全な給食を提供するため、使用する食材への異物混入や異臭の有無等の品質確認を、食材納品時と調理に使用する前の2段階でチェックします。各作業行程においては調理中の食品温度管理並びに異物混入の確認を行い、配送車にて給食コンテナを輸送し学校側に渡すまでの過程を含めて、安心安全を確保する取り組みを行っています。</p> <p>コロナ禍による経済的影響を考慮し家庭の負担を軽減する事で、子育て支援に繋げることを目的に、給食費1食につき100円の補助金を交付すると共に、アレルギーにより給食を摂らず、弁当を持参している場合も、1食につき100円の補助金を交付するなど、学校給食費に係る保護者負担の一部を補助しています。</p>			

事業の成果	成果	<p>従来から学校給食にて特別献立として提供してきた、「ぶりの照り焼き」に加えて新たに養殖ぶりを補助対象とした「養殖魚消費推進事業」を実施し、地産地消事業を拡大することで、養殖ぶりを使った給食献立の多様化が図れました。同時に宇和島市は、水産業、特に真鯛とぶりの養殖漁業が真珠養殖業と共に全国的に有数の産地であることを、食育資料を通じて児童生徒に伝えることが出来ました。</p> <p>また、献立検討協議の場に於いては、予定する小学校給食献立の複数メニューを対象に、「その副菜内容にボリューム感を出すような工夫を求める」などの意見が出て、その意見を基に学校給食献立編成が栄養教諭等の主観的見地に陥らないよう、与えられた意見が大いに参考となりました。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>コロナによる養殖魚需要低迷対策として、国庫補助事業等を利用した市場開拓活動が奏功した影響で、需要拡大に伴う供給量逼迫により養殖真鯛並びに養殖ぶりの価格上昇が起こり、特に養殖ぶりにおいては学校給食に対する供給契約業者が、11月以降の継続的供給を断念するなどしたため、養殖ぶり献立を学校給食で提供する予定回数等が大幅に減少してしまいました。</p> <p>しかし、1月実施の特別献立「ぶりの照り焼き」については、別の供給契約業者であったため、必要供給量を確保してもらうことで予定通り実施することが出来ました。</p>
学識経験者意見		<p>地域食材養殖ぶりの献立を提供するために多大な努力をいただいたり、献立検討協議の場を持ったり、学校給食の充実への努力をうかがい知りました。また、児童生徒に好評なメニューの中に養殖真鯛を活用したものがあり、給食として地域食材を提供した成果が表れていると考えます。</p> <p>栄養教諭等による食育に関する授業を積極的に実施していただいているので、今後も授業を通して児童生徒の食に関する意識を高めていただきたいと思います。</p> <p>学校給食の安全には、日々の点検や携わる人々の安全意識の継続がなくてはならないものだと考えます。今後も、安全な学校給食の提供をよろしくお願いいたします。</p>
今後に向けた取組方針		<p>養殖魚を学校給食に取り入れた献立が提供できるように、「養殖魚消費推進事業」の継続に努めて参りたいと思います。</p> <p>また、食育を通じて「地元を知る」「食の大切さを知る」ことの啓発活動に一層努力してまいります。</p> <p>安全な学校給食を提供するため、今後とも全職員が「食の安全を守る」との意識を共有し、調理着等の身の周りの点検は言うに及ばず、日頃の調理作業の各行程での異物混入等の点検を欠かさず、業務に取り組んで参ります。</p>

項目	6 学校給食			
重点施策	(2) 給食施設の整備			
個別事業・施策名	中央学校給食センター管理事業、吉田地区学校給食センター管理事業、三間地区学校給食センター管理事業、宇和島地区自校給食管理事業、津島地区自校給食管理事業	予算 執行 状況	予算額	22,194千円
			決算額	15,138千円
事業区分	市単独事業		不用額	833千円
			繰越額	6,223千円
施策概要	労働環境の保全及び衛生的な給食施設を維持するために、給食施設の不備の改善・改修や適時に維持補修等を行い、働きやすい施設環境のもと、給食の安定供給と安心・安全な学校給食の運営を進めています。			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○学校給食施設・設備の整備充実 ○各共同調理場との連携強化 ○自校式調理場との連携強化 			
実施状況	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>中央調理場は、施設設備・調理機器の稼働率が高く、軽微な不具合が生じています。また、吉田共同調理場は平成9年度に落成した当時から使用している設備・機械類が多く、経年劣化のため不具合が多く発生しています。各調理場（三間及び各自校式学校給食調理場）に於いても設備・機器の経年劣化が進んでいる調理場も多く、各調理場との連携を基に適正な機械・器具の新規導入、さらには故障した設備機器の修繕や交換を計画的かつ適宜行っております。</p> <p>吉田町学校給食調理場に於いては、清掃用電気ポリシャー及び包丁まな板殺菌庫の入れ替えを行いました。三間町学校給食調理場に於いては、従来未設置のスチームコンベクションオーブンを設置しました。また、蔦淵学校給食調理場厨房並びに津島自校式の岩松学校給食調理場厨房ほか4調理場の厨房に、新たにエアコンを設置しました。</p> <p>一般事業の主なものとしては、中央学校給食調理場の排水処理施設にある移送ポンプの修繕、放流ポンプ及び原水ポンプのフロート修繕、業務用冷蔵庫の修繕、炊飯用自動反転ほぐし機等の修繕を行いました。吉田町学校給食調理場に於いては、雪害で歪みが生じ雨水が漏水していた大屋根軒樋の修繕、厨房内の蒸気配管修繕、排水処理施設にある移送ポンプのフロート修繕、野菜切機等の修繕を行いました。三間町学校給食調理場に於いては、業務用冷凍・冷蔵庫の修繕、電気温水器等の修繕を行いました。また、岩松学校給食調理場トイレの洋式化等の修繕及び厨房内の照明器具多数の不具合修繕に併せたLED化修繕等、清満学校給食調理場休憩室のエアコン入れ替え修繕、畑地学校給食調理場の消毒保管庫修繕を実施しました。</p> <p>この他、三間・岩松・清満学校給食調理場に於いては、既存食缶の使用劣化による角形二重食缶への入れ替えを行いました。</p>			

事業の成果	成果	<p>懸案であった雪害により被害を受けた軒樋修繕について、修繕環境が整った機会を逃さず予算化し、今年度に軒樋の修繕を行いました。</p> <p>次に、長期財政計画の見直しの機会を捉え、新たに更新すべき老朽化した施設整備を計画に追加し、その計画に沿った車両の入れ替えを行いました。</p> <p>また、メニューの多様化に資するべく、既存の厨房機器の経年劣化による入れ替え時期を捉えて、新たにスチームコンベクションオーブンを導入しました。</p> <p>このほか、労働環境の改善及び衛生環境の向上を目的に、自校式調理場厨房にエアコン設置を進めました。また、岩松学校給食調理場のトイレの洋式化と照明器具のLED化を進めました。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>長期財政計画の中期見直しの機会を捉えて、新たに施設整備計画を追加し、必要な整備を進めることが出来ました。</p> <p>昨年度に設置が終わった御楨学校給食調理場以外の自校式学校給食調理場について、今年度各調理場厨房にエアコンの設置が完了したことで、全ての自校式学校給食調理場厨房にエアコン設置が終了し、労働環境改善が図れたと考えています。</p>
学識経験者意見		<p>学校給食の安全のためには施設・設備の整備は必要不可欠です。食の多様化による新しい献立の導入、それに伴う調理器具の必要性等、財政的な制限の中、施設・設備を計画的に整備していただくようお願いいたします。</p> <p>また、近年の気温上昇は提供する給食だけでなく、そこで働く人々の健康にも影響を与えていることは容易に推測できます。調理環境の整備としてエアコンの設置は急務であったことでしょう。設置が完了したことに安堵いたしました。</p>
今後に向けた取組方針		<p>今後一層、施設整備の必要性が高まると考えていますので、各調理場と連携し情報収集に努め、学校統廃合計画の進捗状況を考慮しながら、計画的な取り組みを進めて行きたいと考えています。</p>

項目	7 情報教育			
重点施策	(1) ネットワークを活用した市民への情報提供の推進			
個別事業・施策名	所管課関連事業	予算 執行 状況	予算額	0千円
			決算額	0千円
			不用額	0千円
			繰越額	0千円
事業区分	市単独事業 県費補助事業 国庫補助事業			
施策概要	<p>宇和島市ホームページに社会教育関係の各種資料や施策の情報を掲載しています。</p> <p>生涯学習センターでは、広報、宇和島市公式ホームページに加え、パフィオうわじま公式ホームページへの情報掲載を行いました。</p> <p>図書館では、インターネットを使った蔵書検索や予約受付を行っています。また、愛媛県立図書館等の公共図書館とも相互貸借を行うネットワークを構築し、市民の読書ニーズに応えられるよう努めています。</p> <p>さらに令和3年7月から宇和島市電子図書館を開設し、図書館の新たなサービスを開始しました。</p>			
実施状況	(1) 主な施策・事業			
	<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習情報システムの拡充 ○博物館情報ネットワークの拡充 ○図書館ネットワークの拡充、電子図書館の導入 ○スポーツ事業情報システムの拡充 ○地域安心安全情報共有システムの拡充 			
実施状況	(2) 施策・事業の実施状況			
	<p>生涯学習センターでは、宇和島市や南予地方の歴史に関する講座やクラブトバック作り、フラダンス教室など、様々な講座・教室を実施し、広く市民に参加を呼びかけました。また、宇和島圏域のイベントや講座情報が掲載されたサイト「うわじまっぷ」を運営し、多様化する市民ニーズに則した情報を積極的に発信しました。</p> <p>各公民館においては、基幹公民館（中央、吉田、三間、岩松）のHP内にカレンダー機能を搭載し、利用者が館の予約状況を確認できるようにしました。</p> <p>中央公民館においては、LINEやインスタグラムのほか、今年度から「note」を導入し、イベント等の情報のみならずホリバタのもつ魅力についても積極的に発信し、新たな利用者の取り込みに努めました。</p> <p>図書館では電子図書館システムを導入し、7月15日から供用開始しました。初期導入として約500～600冊を予定していましたが、(株)ヨンキョウ様から10,000千円の寄付をいただき、令和3年度はそのうち5,000千円分を使って1,458冊整備することができました。</p>			

事業の成果	成果	<p>生涯学習センターではセンター公式ホームページにて各事業及び市民講座の紹介記事の掲載するとともに、機関誌を広報うわじまに定期的に梱包するなど、活動内容等について広く周知を行いました。</p> <p>各公民館については、施設紹介、利用料金説明、使用申請書様式のダウンロード対応を行うことはもちろん、基幹公民館においては、試験的運用ではありますがLOGOフォームを活用し、施設のオンライン申請を行いました。</p> <p>青少年市民協働センター（ホリバタ）事業においては、LINEは友だち113、フォロワー67、インスタグラムはフォロワー458と、着実に増えています。特にインスタグラムは、毎日更新しており、市外の人とのつながりの強いツールとして活用しています。</p> <p>図書館では、中央に続き津島分館、簡野道明記念吉田町図書館においても、ICタグの整備を行い、3館の連携をより密にしました。</p> <p>またホームページやインスタグラムの更新、さらにQRコードを使った記事紹介などで情報発信に努めました。</p>
	自己評価	<p>【課題・問題点】</p> <p>宇和島市公式ホームページや生涯学習センター公式ホームページやインスタグラムの更新を小まめに行い、事業のPRや周知に努めるとともに、閲覧者にとって魅力ある情報が発信できるよう努めて参ります。</p> <p>公民館においては、基幹公民館のオンライン申請について、利用状況の確認、検証等を行い、利用者の更なる利便性の向上に努めて参ります。</p> <p>青少年市民協働センター（ホリバタ）事業においては、より魅力的な写真や情報の発信の仕方を学び、フォロワー等のさらなる増加に努めるとともに、生徒に配布されているタブレットの活用ができるよう協議を行っていきます。</p> <p>電子図書館では、小中学生や高校生等を対象に、今後さらに周知啓発を進めていく必要があります。</p>
学識経験者意見		<p>市民の利便性向上と行政事務の効率化を図るため、行政においては、ネットワークを活用した取り組みを進め、市民理解を深めるために、広報誌や多様な情報技術を活用して広報活動を進めています。高齢者、障がい者、子どもたちなど、だれにとっても分かりやすく充実したものになるよう配慮しながら、情報のバリアフリー化の向上に努めていただき、ホームページや広報誌などを活用して、より効果的な情報発信をお願いします。</p>
今後に向けた取組方針		<p>公民館におきましては、貸館のオンライン申請の拡充を図って参ります。</p> <p>青少年市民協働センター（ホリバタ）事業においては、市シティーセールスアドバイザーの力も借り、アナログ（紙媒体）とデジタルそれぞれの利点を生かした、より効果的な情報発信に努めて参ります。</p> <p>図書館においては、電子図書館の利用促進に向け、今年度すべての小中学生に整備された1人1台情報端末を活用して電子書籍を利用してもらえるよう、周知啓発を図って参ります。</p>